



# 京機会ニュース

## No. 38 平成29年(2017年)号

京機会事務局

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂 C3棟b棟4階(b4S13)  
TEL&FAX:075-383-3713 URL:http://www.keikikai.jp/  
E-mail:jimukyoku@keikikai.jp



### 京機会ニュース 誕生20周年

今から20年前の平成9年秋、京機会ニュース No. 1 (創刊号) が発行されました。

同窓会としての“京機会”が、同窓会同士、同窓生と教室、同窓生と学生、とのより親密な情報交換の場を提供することを目的として、平成9年10月1日に、京機会ニュース第1号を創刊しました。



京機会ニュース創刊号

その後、平成25年秋までは春秋の年2回、平成26年秋からは年1回の増刊号にて、毎回数多くの支部報告・紹介や同窓会報告などの思い出を綴り、皆さまにお届けしております。今号は、20年目突入を記念し、特集記事2題を含む過去最大のページ数でお届けいたします。



### 京機会総会のご案内

平成30年度京機会総会は、吉田キャンパスにて平成29年11月3日(金・祝)に開催いたします。



～ 産学連携について語ろう ～

#### 特別講演会

深い専門性を備えつつ横連携できる人材を育成し社会の原動力とするためには、新たな産学官連携モデルを生み出すことが必要です。従来から、大学の一研究室と会社の一部門との間での産学連携研究の事例は珍しくありませんでしたが、これからは大学の単一の研究室だけではなく複数の研究室を集め、企業側の中でも一部門ではなく複数の部門が連携して協力し合いながら、組織対組織という形で産学連携共同研究を進める新しいスタイルが求められます。また研究のみならず教育の面でも、専門性の涵養に加えて、グローバルプロジェクトリーダーを担える資質を備えた人材の育成を目指した産官学の協働が模索されています。

本年度の講演では、単独の研究室や単独の企業では成し得ない研究成果の創出に向けた産官学連携の新しい仕組みについて、機械系専攻群と10年以上にわたって次世代のものづくりをテーマに組織連携を進めて来られた田中 健一氏(三菱電機㈱)にお話いただきます。講演後は、これからの産学連携についての展望を工学研究科副研究科長(研究担当)榎木 哲夫教授とも対談いただきます。



当日は皆さまとのディスカッションもできればと考えます。

～ 食と音楽を愉しむ ～

● 懇親会では、今年も好評のユネスコ無形文化遺産「京料理 八寸」をご用意いたします。



秋の夜長、金管楽の美しい調べとあわせてお楽しみください。



### 京機会行事開催都道府県

この20年の間で、大学と各支部そして皆さまのご協力により数多くの行事が開催されてまいりました。ありがとうございます。調査結果はP.8でご確認下さい。



### 京機短信300号突破!

平成16年秋に京機短信の第1号が発行されてから13年が経ちました。今春には300号を迎えています。



産業界と大学機械系教室の双方の利益を図りながら出来るだけリアルタイムに近い状態の情報をe-mail 配信にて会員の案内するため、平成16年10月4日に京機会ニュースに続き、メール様式の「京機短信」を創刊しました。

今年4月20日発行で300号を突破久保愛三さんへの感謝特集号 し、翌月の301号からは、編集責任者が久保愛三名誉教授(S41)から、吉田英生教授(S53、航空宇宙工学専攻)に交代し、毎月5日発行にて皆さまにお届けしております。創刊当時のe-mail アドレス登録会員は約3000名でした。現在は、学生も含め約5200名の会員各位にお届けさせていただいています。



● 皆さまにとって有益な情報を随時お届けできますよう心がけております。ご住所やE-mailなどの最新データ登録もよろしくお願ひします。

## 会長挨拶

2016年11月5日の京機会総会にて会長を拝命しました。過去を振り返れば同窓会活動では落第生とも言ふべき身であり、歴代の会長が立派に果たして来られたこの役目が自分に務まるものかと思ひ悩む次第ですが、皆様のご指導とご支援があつてこそ出来るものと考えますので、どうか宜しくお願い致します。



言うまでもなく京機会は学科としての同窓会ですが、本部や各支部で毎年定期的に活発な活動をおこなっており、その水準はより大きな学校単位の同窓会などと比べても、また世間的に見ても相当高いところにあると感じています。これも諸先輩や会員の皆さんが長年にわたって工夫と努力を重ねてこられた賜物であり、あらためて感謝申し上げます。

なかでも嬉しいのは、本部や各支部の幹事の皆さんが熱心に会を牽引され、また会合で若い世代の人の姿を多く見かけることです。老・壮・青の各年代の方々が諸活動に参加され、その輪が上手く調和しながら回ってこそ、会の発展が長く続くものと確信する次第です。

ご存じのように、同じ教室や先生の下で肩を並べて学んだ同門の友のことを「朋」と言いますが、私はこの字から論語の冒頭にある有名な章句を同窓会の原点として思い出します。

子の曰く、学びて時にこれを習う、亦た説(よろこ)ばしからずや。朋あり、遠方より来たる、亦た樂しからずや。人知らずして愠(うら)みず、亦た君子ならずや。

これは「孔子の体験にてらして道を学ぶ者の望ましいあり方を述べた」(金谷治訳注「論語」)ものだそうです。同門の友が共有した若くて純粋な気持ちがよく表されています。

その純粋な気持ちも社会に出て年齢を重ねると失われ、「学びて時にこれを習う」という生き方から随分と遠ざかります。これを甦らせてくれるのが大学主催のリカレント講座や種々の講演であり、聴講すると刺激を受けます。その一方で、世俗の損得勘定が幅を利かす世の中にあつては、「人知らずしてうらみず」という生き方も簡単ではありません。学問の場でも昨今では論文の引用度で評価が決まるとも聞いており、君子として道を究めることもなかなか難しい時代となりましたが、ぜひ頑張つて頂きたいものです。

そうした中で、「朋あり、遠方より来る」は京機会の会合に出れば「樂しからずや」を誰もが実感できますので、心より会員の皆様のご参加をお持ちしている次第です。

京機会会長 中村 吉伸(S48)

## 琵琶湖就航の歌

(作詞:小口太郎、原曲:吉田千秋)

本歌は、大正6年に生まれ、今年100周年を迎えました。

「われは湖(うみ)の子 さすらいの・・・」で始まる「琵琶湖周航の歌」は、旧制第三高等学校水上部(現京都大ボート部)そして京都大学関係者に歌い継がれ、歌手の加藤登紀子さんらの歌唱により、その後、多くの人たちに親しまれている愛唱歌です。

誕生100周年を記念した「加藤登紀子プロデュース・第1回びわ湖音楽祭」(H29.7.30開催)では、山極寿一京都大学総長が、「琵琶湖は京都大学の人間にとって魂」と述べられました。(毎日新聞より)

## 秋の彩り・・・「八寸」



「八寸」とは、会席料理などの日本料理で、酒の肴になる料理を数種、少量ずつ一皿に取り合わせたおもてなし料理です。茶の湯の大成者千利休が京都洛南の八幡宮の神器からヒントを得て作ったといわれるもので、そもそもは、八寸(約24cm)角の杉木地の角盆を意味しました。

懇親会では、好評の「八寸」をご用意いたします。第4回目となる今年の料理もどうぞお楽しみに・・・。



琵琶湖周航の歌

一、われは湖(うみ)の子 さすらいの  
旅にしあればしみじみと  
昇る狭霧やささなみの  
志賀の都よいざさらば

二、松は緑に砂白き  
雄松が里の乙女子は  
赤い椿の森蔭に  
はかない恋に泣くとかや

三、波のまにまに漂(な)は  
赤い泊火(とまりび)をつかしみ  
行方定めぬ浪枕  
今日は今津か長浜か

四、瑠璃の花園瑠璃の宮  
古い伝(つた)への竹生島  
仏の御手にいだかれて  
ねむれ乙女子やすらけく

今年の総会では、皆で合唱いたしましょう！

## 平成30年度 京機会総会開催のご案内

本大会を下記により開催いたします。出席下さいますようご案内申し上げます。  
本年度も京大ホームカミングデーと同日開催です。ご家族の参加も歓迎いたします。

日時：平成29年11月3日（金・祝） 15:00～19:30

会場：＜講演会・総会＞

京都大学吉田キャンパス物理系校舎 3F 313室

＜懇親会＞ 百周年時計台記念館 2F「国際交流ホールI」

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 電話：075-753-2285

行事：＜大会受付＞ 14:30～ 物理系校舎 3F 313室前

1. 京機会総会 15:00～16:15

2. 特別講演会 16:25～17:10

「**「組織」対「組織」の産学連携による新たな価値の創造**  
～知能化技術が産み出す生産システムのイノベーション～」

田中 健一氏（S56、京都大学工学研究科博士前期課程修了（航空工学専攻））

＜三菱電機株式会社 開発本部 役員技監＞

イノベーションを実現するためには「分野や文化の異なる人々と交流すること」が重要であると言われております。本講演では、知能化技術による生産システムの革新を例として、単独企業では成し得ない研究成果の創出のために、どのような産学連携の仕組みでこの課題に取り組んだかをご紹介しますと思います。



3. 対談 17:10～17:30

田中 健一氏×榎木 哲夫氏 「産学連携による共創と協働」

講師の話題提供を受け、産学連携で望ましいのは、概念実証型か社会実装型か、トップダウン型かボトムアップ型か、組み合わせ型か擦り合わせ型か、等の観点から、京都大学の強みと文化を生かし、産学双方が共に発展できる研究開発モデルとプロフェッショナル人材育成への貢献について対話します。

対談者：榎木 哲夫氏（S56、機械理工学専攻教授・工学研究科副研究科長）

4. 懇親会 17:45～19:30

大好評の世界無形文化遺産「和食」の八寸料理を今年もご用意いたします。また金管アンサンブルも披露いただきます。会の最後には「琵琶湖就航の歌」を美しい金管楽の調べに乗せて大合唱いたしましょう♪



会費（懇親会費）：一般会員 5,000円 学生会員 1,000円

同伴者（高校生以上） 1,000円（中学生以下） 無料

- **ご家族の参加も歓迎いたします。** ご家族参加の場合は、大会参加申込時にその旨ご回答下さい。
- **自由な服装でお越しください。**
- **10月20日（金）までに、同封のハガキもしくは、京機会HP (<http://www.keikikai.jp/>)からの参加申込をお願いします。**（但し、二重受付登録防止のため出欠回答はどちらか一方をお願いします。）



### ● 第12回 京都大学ホームカミングデー

総会当日は、京都大学ホームカミングデーも開催されます。本年度は「創」がテーマです。講演会や昼食懇親会、見学企画【総合博物館、附属図書館、尊攘堂、清風荘】や京大生のキャリアを考える「卒業生×在学生交流イベント」などとあわせお楽しみ下さい。詳細は、京大ホームページにてご確認下さい。なお、届け日の関係で一部のイベントは受付終了している場合があります。

## 平成29年度 京機会總會のご報告

日 時:平成28年11月5日(土)  
会 場:京都大学吉田キャンパス  
幹事会:物理系校舎(出席者46名)  
総 会・講演会:物理系校舎313室  
懇親会:国際交流ホールⅡⅢ



**今回も、ホームカミングデーと同日開催で、吉田キャンパスで開催いたしました。参加者は、ご家族も含め、総勢124名でした。**

**平成29年度京機会總會は、11月5日(土)に京都大学の吉田キャンパスにある、物理系校舎及び百周年記念館国際交流ホールにて行われました。**

### － 全体幹事会 －

今回の幹事会は、北村隆行工学研究科長(S52)より大学改革の動きや最近の教室の現状に関する説明があり、新役員候補者紹介、活動報告などが簡潔に紹介され、会費納入の減少に対して、総会不参加者への声かけや、参加者のショートスピーチの実施など、様々なアイデアが提案されました。



### － 総会 －

平成29年度総会は、松原厚代表幹事(S60)の司会によって藤原健嗣会長(S44)よりの挨拶から開始され、北村工学研究科長より、指定大学などの動きの中で京都大学は何を主張するのか、といった話題や、産業界も一緒にドクターを育てる卓越大学院などの動きが紹介されました。また、熱材料力学分野の新任助教:栗山玲子氏(H22)、および協力講座粒子線材料工学分野の新任助教:藪内敦氏(H16)の紹介が行われました。

平成29年度活動報告では、各支部の協力による工場見学の実施、脇坂資金による学生の留学補助、学生と先輩の交流会など、学生会の活躍、学生フォーミュラー活動、また、九州支部による社会貢献の実例などが紹介された。また、久保愛三編集長(S41)らの努力により発行されている京機短信が、もうすぐ300号に達することなども報告されました。

次に、西脇眞二会計幹事(S61)より平成28年度の決算報告があり、平田誠計氏(S43)による監査報告がおこなわれ、承認されました。

また、役員改選の結果が報告され(詳細はP.6記載)、中村吉伸新会長(S48)より、新任の挨拶がありました。



さらに今年も京機会の平成28年度の年間活動において顕著なご尽力をいただいた支部推薦の5名へ方の表彰が行われました。ご欠席の受賞者は、各支部から支部長が代理で賞状を受領いただきました。

(詳細はP.5記載)。



続く支部報告では、関西、関東、中部、中国四国、九州、それぞれの支部が、それぞれの特色を生かした活動の報告が行われました。

関西支部は、最近力を入れている各種の京機カフェをはじめ、産学懇話会、異業種交流会、新年会などの様子が紹介されました。関東支部では若手の活躍も活発で、異常種交流会、パネルディスカッション、MOTセミナー、工場見学などにおける学生や教員とのさかんな交流が紹介されました。中部支部では匠の技術をテーマにした見学会、技術交流会、その他の見学会や学生フォーミュラーの応援、工場見学などが紹介されました。中国四国支部も小規模ながら様々に知恵を生かし、コベルコ建機の工場見学など、様々な交流が報告されました。九州支部は、高校生を加えた講義、実験、見学会や様々な社会貢献、など少人数であることを生かしたユニークな活動が紹介されました。

(各支部の活動詳細はP.10～18に記載)



### － 特別講演会 －

消えるロボットを創りたい ～生物型ロボットからレスキューロボットまで～と題して、松野文俊教授(S56)より講演がありました。型を「守る」ところから始まり、その型を「破り」、さらに自由(自らに由る)に「離れ」て創造を行う「守破離」という概念の説明から始まり、災害対応の様々なレスキューロボット開発、生物模範レスキュー、拡張幻術などの実例と理論が紹介されました。ロボット開発をめぐる学生さんとの逸話なども交えたお話で、あっという間の1時間でありました。



## 平成29年度 京機会総会のご報告

### － 懇親会 －

その後、会場を国際交流ホールに移し、蓮尾昌裕代表副幹事(S61)の司会にて懇親会を開催しました。

総会に続き、改めて中村新会長にご挨拶いただいた後、出席者最年長の下間頼一氏(S25)による乾杯の発声により、会が始まりました。



しばし歓談後は、機械理工学専攻修士1回生の馬見新彩さん、高橋充さんから5名の有志学生による金管五重奏「コッツウォルズの風景」を披露いただきました。



KARTからの本年度活動報告後、馬見新さん、高橋さんらに再登場いただき、金管五重奏での伴奏で「琵琶湖就航の歌」を参加者全員で合唱しました。支部総会など、多くの場面で歌われている「琵琶湖就航の歌」ですが、本部の総会では初めての合唱となります。今回、金管五重奏の素晴らしい音色に乗せて参加者の歌声が広い会場に心地よく響き、圧巻のフィナーレとなりました。



最後は、SMILEOBでもある朝倉涼次氏(H15)による中締めにより、総会が終了いたしました。



### － 記念写真 －



### 平成28年度 京機会年間活動優秀賞

受賞者は下記のとおりです。

#### ■ 関西支部

##### 北野 幸彦 氏(S56)

京機カフェミュージックカフェで通常では体験できないユニークな音楽空間を企画から実施までをご担当いただき 多くの会員の参加を実現いただきました。

#### ■ 関東支部

##### 朝倉 涼次 氏(H15)

MOTパネルディスカッション・MOTセミナー等の企画・運営や若手幹事会の取り纏めなど若手を含めた支部の活性化に貢献いただきました。

#### ■ 中部支部

##### 佐藤 誠 氏(H19)

若手の会のリーダーとして、ご家族向け企画や若手を中心とした活動の企画・運営に大いに活躍いただきました。

#### ■ 中国四国支部

##### 高橋 一彦 氏(S58)

支部事務局長として、多くの会員の協力を引き出し支部会員のネットワークを活用した見学会を実現し今後の活動の活性化に大きく貢献 運営いただきました。

#### ■ 九州支部

##### 入船佳津一 氏(S60)

長年に亘り工場見学会などの開催にご尽力いただき支部の活性化に大きく貢献いただいています。



関西支部 北野氏

関東支部 朝倉氏



当日は、たくさんの会員そしてご家族の皆さまにご参加いただきましてありがとうございました！

## 平成29年度京機会役員（敬称略）

◎\*は新任、正：は正幹事、副：は副幹事の略

【会長】 中村 吉伸\*(S48)

### 【副会長】

杉江 俊治\*(S51)

成宮 明\*(S48、関西支部)

川崎 博也\*(S53、関東支部)

安部 静生(S57、中部支部)

田中善一郎\*(S57、中国四国支部)

千々木 亨(S54、九州支部)

長井 大顕\*(H29、学生会)

【監事】 並木 宏徳(S44)、小谷 重遠\*(S44)

森 雅彦(S60)

【代表幹事】 正：松原 厚(S60)、副：蓮尾 昌裕(S61)

【会計幹事】 正：鈴木 基史\*(S61)、副：泉井 一浩(H8)

### 【常任幹事】

#### 大学側幹事：

(関西) 正：川上 浩司(S62)、副：今谷 勝次(S58)

(関東) 正：吉田 英生(S53)、副：小森 雅晴\*(H7)

(中部) 正：田畑 修(S54)、副：西脇 眞二\*(S61)

(中国四国)正：琵琶 志朗(H2)、副：花崎 秀史(S59)

(九州) 正：井手 亜里(S52)、副：河野 大輔\*(H17)

#### 大学側幹事：

(名簿担当) 四籠 泰一\*(H14)

(広報：ニュース)正：富田 直秀(S54)、副：鈴木 基史

(広報：HP) 巽 和也(H9)

(広報：システム) 野中 鉄也(S55)

(学生会) 岩井 裕(H5)、松田 直樹\*(H22)

名村 今日子\*(H22)

(教室代表：機械系) 西脇 眞二

(教室代表：エネルギー) 星出 敏彦(S52)

(教室代表：情報) 杉江 俊治(S51)

学生会：澤田 純平\*(H29)

#### 地区代表幹事：

(関西)上田 大介\*(H3)、(関東)田中 克則\*(S61)

(中部)一本 和宏(H2)、(中四国)石田 英芳\*(S62)

(九州)入船佳津一\*(S60)

【顧問】 久保 愛三(S41)、藤川 卓爾(S42)

藤原 健嗣\*(S44)、松久 寛(S45)

【運営委員会】 運営委員長：吉田 英生

久保 愛三、熊澤 正博(S43)、成宮 明\*、松久 寛

田中善一郎\*、安部静生\*、北條 正樹(S54)

千々木 亨、榎木 哲夫(S56)、中部 主敬(S56)

松原 厚、蓮尾 昌裕\*

### <本部役員改選のお知らせ>

平成30年度本部役員の改選は、11月3日の京機会総会で行います。上記役員任期は平成29年11月2日までです。

## 平成30年度京機会学年幹事（敬称略）

平成30年度学年幹事は下記の通りです。各位には本年度もご協力の程よろしくお願い申し上げます。

京機会総会当日、全体幹事会を、物理系校舎3階312室にて、13:30～14:45に開催いたします。

幹事各位には万障お繰り合わせの上、ご出席の程よろしくご願ひいたします。幹事会の詳細案内は、別途お送りします。

卒業学年	氏名	E-mail	卒業学年	氏名	E-mail	卒業学年	氏名	E-mail	卒業学年	氏名	E-mail
1947			1964	村田 哲也	1964hyogiin	1982	矢辺 保行	1982hyogiin	2000	小田 豊	2000hyogiin
1948			1965	池内 健	1965hyogiin	1983	永瀬 豊	1983hyogiin	2001	土井謙太郎	2001hyogiin
1949			1966	中嶋 邦彦	1966hyogiin	1984	横小路泰義	1984hyogiin	2002	金田 靖弘	2002hyogiin
1950	小澤 和雄	1950hyogiin	1967	藤川 卓爾	1967hyogiin	1985	洲崎 章弘	1985hyogiin	2003	吉富 聡	2003hyogiin
1951	大塚 義和	1951hyogiin	1968	来田 浩毅	1968hyogiin	1986	蓮尾 昌裕	1986hyogiin	2004	安富 亮太	2004hyogiin
1952	山本 巖	1952hyogiin	1969	鴻野雄一郎	1969hyogiin	1987	川上 浩司	1987hyogiin	2005	向 朋作朗	2005hyogiin
1953旧			1970	各務 嘉郎	1970hyogiin	1988	玉川 雅章	1988hyogiin	2006	嶋本 淳	2006hyogiin
1953			1971	高橋 秀公	1971hyogiin	1989	石谷 善博	1989hyogiin	2007	藤井 恵介	2007hyogiin
1954	岡崎 順応	1954hyogiin	1972	秋山 雅義	1972hyogiin	1990	畑 善裕	1990hyogiin	2008	所 哲哉	2008hyogiin
1955	田中 道七	1955hyogiin	1973	増本 雄治	1973hyogiin	1991	高橋 俊雄	1991hyogiin	2009	松本 洋平	2009hyogiin
1956	赤松 映明	1956hyogiin	1974	田上 眞	1974hyogiin	1992	須山 徹	1992hyogiin	2010	工藤 朋也	2010hyogiin
1957	田中 秀樹	1957hyogiin	1975	塩路 昌宏	1975hyogiin	1993	岩井 裕	1993hyogiin	2011	荒井 未来	2011hyogiin
1958	野田 忠吉	1958hyogiin	1976	杉江 俊治	1976hyogiin	1994	茨木 創一	1994hyogiin	2012		
1959	中村 陽一	1959hyogiin	1977	星出 敏彦	1977hyogiin	1995	小森 雅晴	1995hyogiin	2013	姫野 哲全	2013hyogiin
1960	矢部 寛	1960hyogiin	1978	上原 一浩	1978hyogiin	1996	泉井 一浩	1996hyogiin	2014	後藤 崇	2014hyogiin
1961	井上 憲太	1961hyogiin	1979	坂口 保彦	1979hyogiin	1997	佐野 智一	1997hyogiin	2015	児嶋 佑典	2015hyogiin
1962	吉岡 肇	1962hyogiin	1980	奥田 寛	1980hyogiin	1998	浦木 亨弘	1998hyogiin			
1963	中川 哲	1963hyogiin	1981	榎木 哲夫	1981hyogiin	1999	藤本 亮	1999hyogiin			

(注1)該当アドレスへ送信すると、学年評幹事の登録メールアドレスに自動転送されます。本内容はある種の個人情報です。

各位にはお取り扱いには十分にご留意下さい。

(注2)アドレスの後ろは、@keikikai.jp をつけてください。

(注3)本連絡システムに対するご質問・ご意見等のご連絡は、京機会事務局 (TEL:075-383-3713 E-Mail:jimukyoku@keikikai.jp) まで。

<学年幹事決定のご報告> 平成29年7月に平成29年度学年幹事の継続就任をお願いし、上記幹事各位にご快諾いただきました。平成30年度の任期は平成29年11月3日～平成30年11月吉日(総会の前日)までです。

# 京機会平成28年度 (H27. 10. 1~H28. 9. 30) 決算 / 平成29年度 (H28. 10. 1~H29. 9. 30) 予算

	全般	総会	交流会	ニュース	名簿	支部	SMILE	機械系教育補助	社会貢献	H28決算計	H29予算
<収入>											
会費収入	6,210,252									6,210,252	6,520,000
	4,915,000									4,915,000	5,100,000
	540,000									540,000	540,000
	755,252									755,252	800,000
寄付収入	112,000									112,000	100,000
参加費収入		406,000	5,445,300							5,851,300	6,284,000
		406,000								406,000	500,000
			5,362,800							5,362,800	5,700,000
			82,500							82,500	84,000
名簿販売収入					16,000					16,000	0
名簿広告収入					780,000					780,000	0
受取利息	867									867	1,000
その他	0									0	0
名簿引当金戻入					600,000					600,000	0
収入計	6,323,119	406,000	5,445,300	0	1,396,000	0	0	0	0	13,570,419	12,905,000
<支出>											
給与手当	4,545,706	0	0	0	0	0	0	0	0	4,545,706	4,480,000
	4,183,308									4,183,308	4,150,000
	200,000									200,000	200,000
	162,400									162,400	130,000
法定福利費	678,395									678,395	700,000
会費	92,273	603,965	1,364,989							2,061,227	2,050,000
旅費交通費	439,000	150,380								589,380	660,000
印刷費	0	455,072		669,249	1,032,959					2,157,280	1,300,000
通信費	9,468	37,386	18,354	214,557	199,556					479,321	300,000
消耗品費	113,373									113,373	120,000
WEB等管理費	151,139									151,139	200,000
減価償却費	43,599		142,560				40,689			226,848	225,000
雑費	187,374									187,374	200,000
支部交付金	0	0	0	0	0	1,505,444	0	0	0	1,505,444	1,600,000
						468,205				468,205	500,000
						357,010				357,010	380,000
						258,603				258,603	280,000
						195,993				195,993	210,000
						178,843				178,843	180,000
						80,000				80,000	80,000
スマイル活動費							90,729			90,729	150,000
機械系教育補助費	0	0	0	0	0	0	611,790	0	0	611,790	650,000
							142,770			142,770	150,000
							469,020			469,020	500,000
							0			0	0
社会貢献事業補助費								43,684	43,684	43,684	70,000
名簿引当金繰入					0					0	200,000
予備費											0
支出計	6,260,327	1,246,803	1,525,903	883,806	1,232,515	0	131,418	611,790	43,684	13,441,690	12,905,000
差引増減	62,792	△ 840,803	3,919,397	△ 883,806	163,485	0	△ 131,418	△ 611,790	△ 43,684	128,729	0

## <会計決算年度変更のお知らせ>

平成27年度から、会計年度は9月決算となりました。平成29年度決算(平成28年10月1日～平成29年9月30日)は、11月3日の京機会総会に於いて報告・承認の上、次号の京機会ニュース(No.39)にて報告いたします。

## 会費納入のお願い

**平成29年度・30年度の会費の納入をお願いします。**

**年会費は、従来どおり3,000円です。**

**平成29年度<H29. 4~H30. 3>、平成30年度<H30. 4~H31. 3>をそれぞれ1年分と考えてご納付下さい。**

同窓会を維持し、また、京大の機械系教室の現役・OBが一体となって、日本のものづくりを支える本会の活動は、会員の皆様から納入される会費を基盤にしております。是非、会費納入にご協力下さい。会費ならびに寄付ともに同封の振り込み用紙をご利用下さい。振込用紙は返信はがきと一体となって印刷されております。

**会費納入の際には、会費最新状況お知らせ欄に記載されている納入状況を今一度ご確認ください。**

### ●永年会員登録のお勧め

1980年以前ご卒業(60歳以上)の会員は、永年会費6万円を納入することにより、その後の年会費納入の必要はなく、生涯会員サービスを受けられます。積極的にご登録下さい。(但し、登録に際し既払込会費の返金はいたしません。)

### ●インターネットバンキングもご利用できます。

右記の口座に、振込手数料を除いた金額をお振込下さい。(今後、年会費振込手数料は全て京機会負担といたします。(海外送金は除く。))

# 口座名は全て「京都大学機械系工学会」です。

ゆうちょ銀行 ぜろきゆうきゆう ○九九店(099) 当座預金 0116821  
みずほ銀行 出町支店(587) 普通預金 1048630  
郵便振替口座 00990-8-116821

### ●京機会年会費自動引落のお勧め

各位の振込の手間を省くため、また、事務局の作業を大幅に減らし経費を削減するため、京機会年会費を自動引落にさせていただくことを、是非お願い申し上げます。

申請の際は、同封の用紙をご使用下さい。振込手数料は京機会負担ですので、是非ご利用下さい。

申請依頼書は5月末迄に京機会事務局にご郵送下さい。

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂 C3棟 4階 b4S13  
京都大学工学研究科 機械系教室内 京機会事務局

### ■年会費自動引落日は8月1日(年1回)です。

### 寄付のお願い

本会では寄付をお願いしております。前号以来、下記に記載いたしました方々からご寄付をいただいております。ご報告申し上げると共に、厚く御礼申し上げます。

引き続き、皆様方には、寄付へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 平成28・29年度寄付者 (H28. 9. 1~H29. 8. 31)

郷原 実 様(1947) 岩崎 恵二 様(1952)  
仁科 稜三 様(1958) 本橋 宏 様(1964)  
久保 愛三 様(1966) 西田 光男 様(1970)  
相馬 和夫 様(1975) 中村 公夫 様(1983)  
藤本 哲也 様(1991) 平岡 薫 様(1993)  
鎌倉 正典 様(2006)

# 京機会行事開催マップ

20年を振り返り、平成9年9月～平成29年8月の20年間で行事が開催された都道府県を調査いたしました。

●平成29年10月以降で現在決定されている主な支部行事は以下の通りです。

- 平成29年10月14日：東北の会秋の例会(多賀城市・仙台市)
- 11月18日：中国四国支部地区交流会(高松市)
- 11月25日：九州支部総会(長崎市) / 中部支部匠の技見学会(豊田市・岡崎市)
- 平成30年 1月20日：関西支部総会・新年会(大阪市)
- 1月27日：関東支部総会・新年会(東京都品川区)
- 4月14日：中部支部総会・新人歓迎会(刈谷市)
- 5月予定：中国四国支部総会(新居浜市・別子銅山)

🌸 国内：1都2府25県 海外：1国



## 京機会 Facebook

2013年11月27日、京機会 facebook ページを開設しました。是非ご利用下さい



## 同窓会開催のお手伝いをします！

京機会のご目的は会員の親睦と発展であり、その原点は各卒業年度の同窓会活動にあります。学年同窓会や研究室同窓会開催に際し、京機会事務局は、皆様の運営にご協力いたします。



現在、事務局では、ご希望に応じて、受付WEBシステムや案内配信、宛名ラベル出力などのサービスをご提供しています。具体的な手続きは、事務局にご連絡ください。  
なお、個人情報保護の関係で、関連データ提供に関しては、簡単な規則を設けて運用しています。



受付システム画面

**是非、各種同窓会をご計画下さい。**



## 学生と先輩との交流会の変遷

今では恒例の「学生と先輩との交流会」は、平成11年5月21日(土)に平成11年度京機会春季大会総会の企画として、『在学生に社会で活躍されている機械系工学の先輩と接触する機会を与えたい』との思いのもとに会の運営が始まりました。

第1回は、<ご卒業生の多い会社40社>に参加案内をお送りし、当日はその内の34社、約60名の先輩にご参加いただきました。在学生は(主催者側発表で)約300名が参加との記録が残っております。先輩の声を通して会社や業界の様子、日々の仕事のやりがいなど、就職のための会社訪問ではなかなか聞けない話ができたと当時の学生にも大変好評でした。その後、各方面から多くの「再開催希望」の声が届き、18年の間に開催会場や時期、運営担当を変えながら、毎年好評裏に開催しています。来春は、下記日程で20回目の交流会を開催いたします。

### < 交流会風景 >

#### ■ 第1回 (H. 11. 5. 21) ~ 第11回 (H20. 11. 15) 会場：吉田キャンパス 物理系校舎

★ 平成15年度は第5回(4/19)第6回(11/15)の2回開催



第3回(平成13年)

第6回(平成15年)

#### ■ 第12回 (H21. 11. 28) ~ 第15回 (H24. 12. 8) 会場：吉田キャンパス 百周年記念館



第13回(平成22年)

#### ■ 第16回 (H25. 12. 14) 会場：桂キャンパス 船井哲良記念講堂



#### ■ 第17回 (H27. 3. 6) ~ 現在 会場：京都リサーチパーク (KRP)



第17回(平成27年)

第19回(平成29年)

## 学生と先輩との交流会にかかるお知らせ

**来年3月2日(金)に、京都リサーチパーク(会場)で開催します!**



「学生と先輩との交流会」を、平成30年3月2日(金)に、京都リサーチパーク(京都市下京区:JR丹波口より徒歩5分)にて開催いたします。  
参加案内は、10月中旬頃に京機会会員所属企業宛に郵送予定です。  
今年度も早期に満員になることが予想されます。お早目の申込をお願いいたします。  
なお、案内がお届けできていない企業もございます。  
本交流会にご興味をお持ちいただいた場合は、京機会事務局までご連絡下さい。

### 京機会・京機学生会SMILE 学生と先輩との交流会のお知らせ

#### 学生会員諸君!

学生会員の多数の参加をお待ちしています。

詳細は、京機会からのE-mailや電光掲示板・ポスターにて確認下さい。

**日時：平成30年3月2日(金)**  
**交流会：11:00~16:45**  
**懇親会：17:00~19:00**

< 9月現在の予定です。時間変更になることもあります。>

**会場：京都リサーチパーク(KRP)**  
**懇親会費：1,000円**

**早期申込みの場合、懇親会費は500円!**



#### ~ 学生と先輩との交流会とは ~

本交流会は、学生が社会における「現実」を知る教育活動の一環として、1999年より実施しております。本会は、京機会会員である先輩から、在学生に対し、大学における勉強と実社会との仕事の関係、仕事のやりがい・心構えなどを話していただいております。例年、学生の関心も大変高く、勉学の動機づけや将来の方向付けにも少なからず寄与しております。毎年、約100社の企業にご参加いただいております。



■平成29年度支部総会

日時:平成29年1月22日(日)

場所:ホテルグランヴィア大阪 参加者:78名

支部総会を実施し以下項目を報告し議決されました。

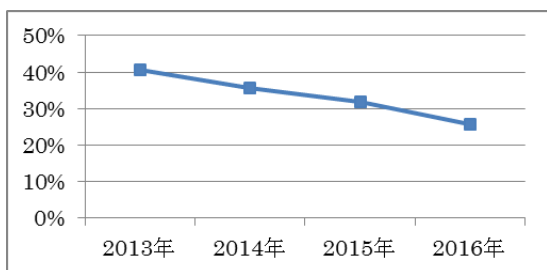
平成28年度・活動報告・会計報告

平成27年度・役員改選・活動報告案・予算案

平成28年度会計報告

収入		支出	
項目	H28実績	項目	H28実績
前年度繰越金	¥2,116,733	新年会経費	¥945,652
新年会参加費	¥777,000	産学懇話会	¥60,000
本部からの交付金	¥468,205	異業種交流会運営費	¥100,000
普通預金利息	¥212	京機カフェ活動費	¥150,000
		関西支部運営会費	¥104,178
		その他経費	¥756
		次年度繰越金	¥2,001,564
合計	¥3,362,150	合計	¥3,362,150

参考:京機会関西支部の会費納入率



会費の納入率は、右肩下がりになっています。皆さんからの会費が活動費となりますので、会費納入にご協力願います。

平成29年度関西支部役員

支部長:成宮 明(S48)

副支部長:小河原 誠(S53)、谷垣 哲也(S56)

副支部長:津田 博之(S63)、川上 浩司(S62)

副支部長:今谷 勝次(S58)、北條 正樹(S54)

事務局長:上田 大介(H3)

事務次長:上田 雅人(S60)

監 事:鴻野 雄一郎(S44)



■平成29年度新年会

日時:平成29年1月22日(日) 17:45~

場所:ホテルグランヴィア大阪 参加人数:94名

関西支部総会に引き続き、恒例の関西支部新年会を開催致し94名の方に参加いただきました。当番会社(川崎重工(株))代表の開会挨拶に続き、成宮明支部長(S48)の挨拶、更に大学代表として松原厚先生(S60)に大学の近況の御報告を頂きました。そして当日ご参加頂いた

最年長の永井将様(S31)に乾杯の御発声を頂き、開会いたしました。

恒例の「琵琶湖周航の歌」の大合唱の後、記念撮影を行い、活気に満ちた新年会を盛会裡に閉会しました。



■産学懇話会

○第45回:平成29年5月13日(土)

会場:京大吉田キャンパス物理系校舎 参加者:55名

講演:「紫電改から救難飛行艇開発への歴史」

新明和工業 須山 健氏(S62)

「折紙工学の基礎と産業への応用」

京都大学 杉山 文子氏(S55)

「TWILIGHT EXPRESS 瑞風のご紹介」

JR西日本 久保田修司氏(H1)

今回はテーマを特に絞らず、3件の話題提供がありました。いずれも最新の技術動向についての講演で非常に興味深く参加者との積極的な意見交換ができました。

■異業種交流会

○第41回:平成28年11月22日(火)

場所:ヤンマーびわ工場、ヤンマーミュージアム

参加者:27名(学生13名)

講演:「ヤンマーお商品開発を支える基盤技術」

末崎 達也氏(H8)

世界の厳しい排出ガス規制に対応した各種産業機械向けディーゼルエンジンなどを国内外へ幅広く提供し、IoT技術を用いた独自の高度なオートメーションシステムにより、多品種少量生産に柔軟に対応できる一貫生産体制を構築しているヤンマーびわ工場の見学と、2012年ヤンマー創業100年を記念して設立された体験型のヤンマーミュージアムを見学しました。

○第42回:平成29年3月10日(金)

場所:ダイキン工業(株) 淀川製作所

参加者:28名(内学生8名)

講演:「淀川製作所およびテクノロジーイノベーションセンター(TIC)の取組の紹介」 柴田 豊氏(H1)

「地球温暖化防止に貢献するヒートポンプ技術」

檜皮 武史氏(S59)



ダイキン工業(株)、同社淀川製作所、および、技術開発のコア拠点として2015年11月に開設されたTICについて紹介するとともに、その基本方針である社内外の協創イノベーションの一環として、京都大学とも包括提携による共同研究を実施していることなどが紹介されました。

続いて、近年の空調機主要部品である圧縮機、熱交換器での省エネの取組、地球温暖化への影響が低い冷媒への転換の取組など地球環境に配慮したヒートポンプ技術の取組が紹介されました。

その後、同社の技術や商品の歴史を展示した「啓発館」、空調・化学・油機事業などでの開発中の先端技術を紹介する「オープンラボ」、LEEDプラチナ認証を取得している、同社の空調技術の粋を結集したZEB(ゼロ・エネルギー・ビル)指向のTIC建屋などを見学し、活発な議論の後、賑やかに懇親会を実施しました。



■ 京機カフェ

詳細、申し込みは関西支部ホームページを参照下さい。

● テニスカフェ

○第3回：平成28年11月26日(土)

場所：六甲アイランドテニススクエア 参加者：15名

晴天にも恵まれ、初参加4名、夫婦が2組を含む15人(年齢は70歳代から現役50歳代)が、東は高槻、枚方から、西は徳島から集合して、紅白二組に別れ、元気いっぱい夕暮れまで思う存分にテニスを楽しみました。

○第4回：平成29年5月6日(土)

場所：島津製作所三条工場テニスコート 参加者：16名

昨年に引き続き、全日本女子実業団トップの島津製作所テニス部様の協力を得て、再び京都地区での開催をすることができました。曇りがちで少し雨がぱらつくこともありましたが、初参加8名、夫婦が3組を含む16人(年齢は70歳代から現役50歳代)が、東は滋賀、西は兵庫明石から集合して、紅白二組に別れ、元気いっぱいに全米オープン仕様のすばらしい屋内コート、屋外のオムニコートで紅白戦、親睦試合を思う存分に実施しました。



● ゴルフカフェ

○第9回：平成28年11月4日(金)

場所：神戸ゴルフ倶楽部 参加者：23名

野田忠吉様(S33)のご紹介で日本最古のゴルフ場である神戸ゴルフ倶楽部で開催されました。

今回は会場が日本最古のゴルフ場という事で藤原京機会会長(当時)をはじめ、関東、中部支部からも参加者があり、最終的に23名とゴルフカフェ始まって以来の最多の参加者を集めました。



コースはロングホール無しの18ホールパー61ですが、アップダウンがきつく、砲台グリーンと難しいバンカーに苦しめられ、カート無しのプレーという事もあってか、皆さん通常のパー72のコースと同じようなスコアでした。その中でベスグロは最高齢グループ4名の一人、小澤三敏氏の79(エージシュート!)でした。プレー後は受賞者の挨拶と情報交換に話が弾みました。ダブルペリアの結果、優勝はネット63(ハンディ30)の橋永雅夫氏(S50)、2位が石井清治氏(S48)、3位小澤三敏氏(S33)、BB賞中島政明氏(S40)でした。なお、9月14日(木)には、新大阪ゴルフクラブで、第10回大会を開催しました。

● ミュージックカフェ

○第8回：平成28年11月19日(土)

場所：神戸元町 LosGitanos 参加者：17名

本格フラメンコの世界を、京機会MCで独占体験しました。ステージとの距離0mの特等席エリアを、京機MCの参加者で占有しました。

まずは、東京経済大学・名誉教授棚橋様(S39)に大変楽しみにされていたとのご期待のごあいさつと乾杯の御発声をいただきました。イングランドご出身のアマリーンご婦人も、日本でのスペインという風変わりな組合せを終始笑顔で楽しまれていました。大迫力の舞踏とフラメンコ特有の旋律の歌とギター。踊り手の飛び散る汗が見えるほどです。速くて強いタップが「ガガガガ。ダダダダ」と打ち寄せてきます。脚をいためないか心配なほどです。情熱を惜しみなくぶつけて本気で踊っていただいたダンサーさんたちに感動しました。





○第9回:平成29年5月20日(土) 参加者:30名

場所:先斗町「鴨川をどり」&ホテルオークラ

<第一部 鴨川をどり>

席を確保していただいたお茶屋さんから、本番3日前に受け取ったチケットを確認すると「**栈敷席**」と表示してある。これは、2階中央の特別な最上級の席まさに**栈敷**なのでした。舞台の第一幕はなんと「舞」ではなく「源平女人譚(ものがたり)」という舞台劇。第二幕は、世界にほこる「舞」。究極の美。このような美しい表現が長年大切に引き継がれてきたこと、直接見て、京都が日本がほこらしく思えました。それを**栈敷席**で鑑賞。世界のだれにもまねのできない舞を、手抜きなしで精いっぱい披露して下さる芸舞妓さんの誇りと心が伝わってきて、感激せずにはおれませんでした。



<第2部 京都ホテルオークラ>

今回のお茶屋さんとの交渉など、大変お世話になった谷垣哲也氏(S56)も2部から合流され、ご挨拶。

さっそく「**一見さんお断り**」のはずの舞を、**一見さん**の京機会メンバーは堂々と真近で堪能させていただきました。来てくださったのは、宮川町のトップクラスのキレカワ度(きれい&かわいい)の芸妓と舞妓さんでした。2時間ずーとおつきあいいただいたのです。美しい芸舞妓さんとカジュアルな談笑ができるなんて。参加者のみなさま、舞い上がるのも無理ないですね。



● **大阪あそび**

○第7回:平成29年1月14日(土)

場所:阪神甲子園球場 参加者:21名

甲子園球場の歴史を伝える「**甲子園歴史館**」を訪ね、甲子園球場のスタッフによる球場のエピソードなどを伺う特別講演、普段の野球観戦では見ることができない阪神甲子園球場の裏側をツアーガイドによる解説を聞きながら見学するスタジアムツアーと場内のプレミアムラウンジでランチ(バイキング形式、飲み放題)を楽しむ企画を実施しました。



● **文楽鑑賞会**

○第14回:平成29年7月29日(土)

場所:国立文楽劇場 参加者:20名

懇親会会場:国立文楽劇場内文楽茶寮

演目:源平布引滝 義賢館の段/矢橋(やばせ)の段/竹生島遊覧の段/九郎助住家の段



● **京都あそび**

○特別企画:平成28年11月6日(日)

場所:京都鉄道博物館 参加者:29名



● **KMCイノベーション研究会**

○第3回:平成29年4月20日(木)

場所:京橋メンテック株

● **ビジネス倶楽部**

○第8回:平成29年9月15日(金)

場所:株式会社ユーシン精機

<同時開催:特別企画>

学生・若手向けセミナー「先輩に企業での働き方を聞く」

● **産業遺産探訪**

● **京機サロン (NOT研究会)**

● **若手交流会**

● **京機私塾 (U-40)**



**総会・新年会のご報告**

平成29年1月28日(土)に日立金属高輪和彊館にて総会・新年会を開催し、講演・懇親会合わせてのべ102名が参加しました。

リカレント講演では榎木哲夫教授(S56)による「人と機械の持続性ある調和のデザイン:IoTとIoAの観点から」、また総会特別講演では山極 壽一総長(S50、理学部)による「人間社会の由来と未来:ゴリラとAIをつなぐもの」の2つの講演が行われ、活発な質疑応答がなされました。



総会後の新年会では、写真同好会の写真紹介や新人紹介なども行われ、今後の関東支部を盛り上げていくべく熱く楽しい交流がなされました。



**ゴルフ会のご報告とご案内**

平成29年3月11日(日)に、第19回ゴルフ会を万木城カントリークラブ(千葉)で行いました。晴天のもとに過去最多の18名が参加しました。熱戦の結果、第18回に続き大野真司氏(S63)が連続優勝を飾られました。



第18回は、昨年11月12日(土)に富貴ゴルフ倶楽部(埼玉)にて開催しており、17名が参加しました。

第20回は、平成29年9月18日(祝・月)に江戸崎カントリー倶楽部にて開催いたしました。

関東支部では春と秋にゴルフ会を開催しています。詳細は、随時、京機会HPとメールにてご案内しております。皆様のご参加をお待ちしております。

**異業種交流会のご報告**

昨年10月21日(金)に、三菱日立パワーシステムズ(株)殿のご厚意で第14回の異業種交流会を開催しました。本会では、火力発電の主要設備(ガスタービン・蒸気タービン・発電機・ボイラ)の技術動向についての講演があり、質疑応答では活発な議論が行われました。

また、見学会では、ガスタービンやMRJ・H2ロケット等、三菱重工が関わる科学技術の展示を紹介いただきました。その後の懇親会では普段の業務ではできない議論を重ねながらも思い思いに交流を深め、大変有意義な会となりました。



本年の異業種交流会は、日産自動車(株)のご担当で平成29年9月27日(水)、日産自動車(株) 横浜工場にて開催いたしました。

**MOTセミナーのご報告**

昨年9月24日(土)に、第10回MOTセミナーとして、三菱電機(株)取締役会長 山西健一郎氏 (S50)に「経営者に必要な資質と行動」のテーマでご講演頂き、25名が参加しました。

ご講演では三菱電機(株)の経営戦略に加え、経営者に必要な資質を書籍やニュースを引用頂きながらご説明頂きました。また質疑では、若手からの幅広い質問に丁寧にご回答いただきました。

その後に開かれた懇親会でも、講師との談話に花を咲かせ大いに盛り上がりました。



第11回セミナーは、平成29年9月2日に、「未来に繋ぐビジネスのヒント(視点と行動と資質から)」のテーマで新日鐵住金(株)の田中 誠氏 (S58)にご講演頂きました。

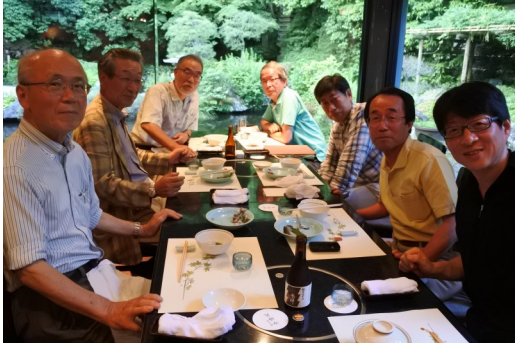


## 支部だより

### 関東支部からのお知らせとご報告

#### 写真同好会撮影会のご報告

平成29年5月27日(土)に、第15回の撮影会を開催し、7名が参加しました。撮影会では4,800種類10万本の樹木が生育シバラ園、つつじ園、ウメ園などがあります神代植物公園(東京都)を巡り様々な花を撮影しました。



皆様の力作を、「京機会関東支部HP写真同好会」に掲載いたしております。ご高覧ください。

第14回は、昨年11月26日(土)に「芝公園、増上寺、東京タワー」の撮影会を行っております。

#### 平成30年度 関東支部総会・新年会のご案内

今年度の関東支部総会は、以下の日程で開催します。同封の別冊案内をご確認ください。

詳細は、京機会HPにも掲載しております。

**日時：平成30年1月27日(土) 13:00～**

**場所：日立金属 高輪和彊館(品川駅から徒歩10分)**



## 支部だより

### 中国四国支部からのお知らせとご報告

#### 2016年度 支部総会・異業種交流会のご報告

日時：平成29年5月20日(土) 参加人数：32名

##### 1) 見学会

場所：自衛隊第一術科学校(旧海軍兵学校跡地)

JR広島駅からバスで約1時間の場所にある江田島市の旧海軍兵学校跡地を見学しました。当日は晴天のもと、自衛隊OBの方による施設案内を受け、明治以降の日清・日露戦争、太平洋戦争の戦没者を偲びつつ、荘厳で歴史的な重みのある施設を見学しました。



##### 2) 支部総会／異業種交流会／懇親会

場所：アークホテル広島駅南

講演：「三菱重工業のICTソリューション本部と総合研究所の紹介」 佐部利誠司氏(H4)三菱重工業(株)  
「京都大学フォーミュラプロジェクトKARTの活動紹介」  
松本 太斗さん(修士1回生)



懇親会では、当日参加された異業種の方々と和気藹々と交流を深めました。

最後は恒例の「琵琶湖周航の歌」の合唱と川口顧問による「三本締め」で締め括りました。



#### 支部役員のご紹介

支部長	田中善一郎(S57)
副支部長	琵琶 志朗(H2)、古屋 博章(S57)
〃	高橋 一彦(S58)
監事	岡 宏一(S56)
事務局長	石田 英芳(S62)
事務局次長	松田 健嗣(H6)
評議員	多田 直哉(S62)、後藤 宏(S63)
	小川 誓(S62)、木村泰之(S63)

#### 地区交流会 ～秋季行事～のご案内

- 1) 開催時期：平成29年11月18日(土)
- 2) 会場：高松市内
- 3) 行事内容：支部役員連絡会議/会員交流会

● 秋季行事・春季行事の詳細は、京機会ホームページならびにメールでお知らせいたします。



### 第24回技術交流会のご報告

日時:2016年9月26日(月) 13:45~20:00

場所:トヨタ自動車(株)元町工場、(株)デンソー安城荘

例年、学生工場見学会と同時開催しています技術交流会は、トヨタ自動車(株)にて水素で走る燃料電池自動車「MIRAI」のLFA工房見学と、市場投入直前の新型プリウスPHVを初め、話題の最新技術について、「新型プリウス、プリウスプラグインハイブリッドの開発について」と題し、同社の安部静生さん(S57)に講演頂きました。

学生工場見学会では、DMG森精機(株)とトヨタ自動車(株)を見学いたしました。

〔幹事:長嶋(トヨタ自動車)、新家(DMG森精機)〕



### 第2回匠の技見学会のご報告

日時:2016年11月25日(金)

場所:(株)ヤマハミュージカルプロダクツ豊岡工場

「先進性、高い感性と匠による世界最高峰の楽器・音響機器づくり」を体現された管楽器工場を見学しました。加工、調整作業では、多くの匠の皆様が、真剣そのもので作業されている『匠の技』を見ることができました。検査作業による即興演奏のサプライズもあり、素晴らしい音色を聞くこともできました。

匠を育てるための技能教育の話など、興味の尽きない見学会でした。

〔幹事:近藤(ヤマハ)、岡田(三菱自動車)、多田(日本ガイシ)〕



### 日本モンキーセンター見学(若手企画)のご報告

日時:2017年2月11日10:00~12:00

場所:日本モンキーセンター 参加者:18名

例年好評のイベントで、引き続き若手の会が主催しました。今年度は日本モンキーセンター学術員の高野先生にヒトとチンパンジーの骨のレプリカを使って筋肉の付着位置の違いや意味を考察する「骨パズル」というプログラムを実施していただきました。バラバラの骨を正しい位置に並べたり、骨のレプリカを見ながら自分たちが

身体を動かす時に、“どの骨”が”どのように”動くのかを考えたりする内容で、子供達を始め、我々機械工学出身者もいつの間にかのめり込んでしまう非常に面白いプログラムでした。〔幹事:谷口(中部電力)、手塚(三菱重工)〕



### 中部支部総会のご報告

日時:2017年4月8日(土)

場所:(株)豊田自動織機 参加者:85名

講演:MOTOBOTの挑戦」渡辺 仁氏(ヤマハ発動機)  
「トポロジー最適化による革新的構造設計」

西脇 眞二氏(京都大学)

渡辺さんにはロッシを超えるを目標に自立型ライダーロボが進化する過程をお話し頂きました。

西脇先生には最適構造の自動生成の考え方や将来性についてわかりやすくお話いただきました。



### KART見学会&納涼懇親会のご報告

日時:2017年6月24日(土)14:00~17:00

場所:京都大学工学部機械系実習工場 参加者:4名

恒例の全日本学生フォーミュラ大会に先立ち、KARTの皆さんの活動風景を実際に見学させていただきました。車体/モノコック見学(完成直後)、コスト計算資料、図面紹介、KART取材ビデオ鑑賞などを通じ、現役KARTメンバーのものづくりに対する情熱とバイタリティを感じることができました。見学後は、河原町四条/東華菜館川床ビアガーデンにて乾杯! 〔幹事:林(新日鐵住金)〕





## 支部だより

### 中部支部からのお知らせとご報告

#### 第25回技術交流会のご報告

日時:2017年7月18日(火) 13:00~19:30  
場所:新日鐵住金(株)名古屋製鐵所 参加者:26名

日本のモノづくりの根幹である製鐵所を訪問させていただきました。実際に使われていた高炉の一部や熱間圧延ラインを見学させていただき、そのスケールの大きさと「熱さ」を体感することができました。なかでも巨大な圧延ロールの交換が5分程度で自動化されているの驚きでした。交流会では、環境負荷低減や操業改善の取組についてご講演いただきました。



また、懇親会では見学会について語り合うとともに、1分近況報告、琵琶湖周航の歌の合唱などで非常に楽しい時間を過ごせました。

[幹事:今村(ヤマハ発),岡田(三菱自動車),宮川(豊田中研)]



#### 学生フォーミュラ応援(若手企画)のご報告

##### 「学生フォーミュラ観戦(KART応援)」

日時:2017年9月9日(土)  
場所:静岡県小笠山総合運動公園(エコパ)

昨年はおしくも優勝を逃しましたが、優勝を目指して奮闘する京都大学学生を後押しすべく、本年も全日本学生フォーミュラ大会に参加するKARTチームの応援を行いました。

[幹事:林(新日鐵住金),多田(日本ガイシ),谷口(中部電力)]



昨年の様子

#### 第26回技術交流会のご報告

日時:2017年9月25日(月) 14:30~20:00  
場所:三菱電機(株)名古屋製作所、(株)デンソー安城荘

本年も学生工場見学会と併せて、三菱電機(株)にてe-F@ctoryコンセプトの工場見学と「IoTによる生産革新、ロボットの知能化とAI化への取組み」と題した講演会を開催いたしました。学生工場見学会では上記に加えDMG森精機(株)伊賀事業所とトヨタ自動車(株)元町工場を訪問しました。会の様子は、後日ご報告します。

[幹事:新家(DMG森精機),松本(三菱電機),近藤(トヨタ自動車)]

● 今後の行事は、京機会ホームページならびにメールでお知らせいたします。別紙案内も参照下さい。



## 支部だより

### 九州支部からのお知らせとご報告

#### 平成28年度 秋の行事・総会のご報告

##### 明治学園中高等学校出前講義 TOTOミュージアム合同見学会・関門海峡歴史探検ツアー

平成28年12月10日、11日に支部総会に合わせ、秋の行事を行いました。北九州の明治学園中高等学校にてエネルギーに関する講義と実験授業を行うとともに、TOTOミュージアムの合同見学会も行いました。16名の会員の皆様と、明治学園から24名の生徒さんと2名の先生にご参加いただきました。

#### 1) 出前講義・合同実験・合同見学会

出前講義は、まず、蓮尾昌裕教授(S61)から京都大学の学問に対する真摯な姿勢や自由な校風など大学の魅力をご説明いただきました。その後、藤川卓爾さん(S42)が、人類が有史以来どのようにエネルギーを操ってきたか、平安朝の絵巻物やドンキホーテの挿絵などさまざまな資料を用いながらおもしろくご説明下さいました。

後半の実験タイムでは、ミニ風力発電機、簡易直流モーターの試作に生徒さんと共に挑戦しました。参加生徒さんの半数は中学生で、風車の製作では慣れない工

作に苦戦しておられました。簡易直流モーターの試作では、失敗を繰り返しながらコイルのバランスや接触部の構造を改良して最後にうまくモーターが回ると、満足そうな表情を浮かべておられました。ものづくりの面白さが彼らに少しでも伝わったなら幸いです。参加者も中高校時代の純粋な心持ちに立ち返って生徒さんと一緒に楽しい時を過ごしました。

その後、TOTOミュージアムを生徒さんと共に見学しました。衛生陶器の需要をいち早く見抜いた創業者が幾多の困難に遭遇しながらも、お客様と品質を大切にしているものづくりの精神を守り抜いて事業を拡大し、衛生陶器分野のリーディングカンパニーに育て上げてきたこと、現在も衛生陶器のみならずセラミックス分野で世界をリードしていることを学びました。







2) 支部総会・懇親会

夕刻、TOTOミュージアムの一室をお借りして、支部総会を行いました。平成28年度の活動と決算が報告され、承認されました。次に平成29年度予算方針と予算が審議され、今後もご家族が参加しやすい魅力ある活動を目指し、社会貢献にも引き続き挑戦することを確認しました。

更に、新事務局長に入船佳津一さん(S60)を、新事務局長次長に長友志朗さん(H11)を選出しました。

懇親会は小倉のふぐ料亭「ちよろ松」で行い、ちよど旬となった美味なふぐ料理を皆で楽しみました。



3) オフショナ尔特ア-

翌日は、関門海峡の歴史史跡を歩いて見て回るウォークツアーを行いました。最初に、九州鉄道博物館を訪問し、蒸気機関車や明治時代の客車、電機寝台車など様々な車両を見学し、鉄道マニアの参加者は貴重な体験となりました。次にボランティアガイドの案内で昔の高級料亭の三宜楼や、様々な門司の歴史的建造物や街並みを歩いて見学して回りました。その後、関門トンネルの人道を通り、皆で関門海峡の下を歩いて渡りました。世界的にも数少ない海底人道を歩く貴重な経験を皆で分かち合いました。その後下関では唐戸市場で絶品の寿司を堪能し、一日、関門海峡を皆で楽しみました。



H29年度 春の行事・総会のご報告

熊本地震被災地域視察 (熊本城、サントリー(株)熊本工場 阿蘇地区)

平成29年5月27日、28日に平成29年度春の行事を行いました。今回は、ご家族の方を含む16名の方々をご参加下さり、熊本地震の被災地域を訪問し復興状況を視察しました。地震は日本中どこでも発生する可能性があるだけに、ご参加の皆さまも熊本の震災への取り組みから多くを学ぼうと大変熱心に視察されました。

まず最初に熊本城の被災状況と復興活動を視察しました。天守閣には近寄れませんでした。ボランティアガイドの方が城郭を一周して案内下さいました。

注目されているのは、1889年の地震時に修復された石垣の八割が崩壊したのに対し、加藤清正時代の古い



石垣の多くが損壊を逃れたことで、明治時代の修復方法の欠陥について議論されているそうです。かかる説明を聞き、地震国日本で培われた耐震技術のレベルの高さを再認識しました。今の天守閣は西南の役で焼失したものを1960年に再建したのですが、屋根や石垣のかなり激しく損傷しています。熊本市民のシンボルであることから天守閣の復旧を最優先し、3年間で修復することになったそうですが、その他の城郭や建物の修復には20年かかるとのことでした。

午後からはサントリー(株)熊本工場を視察しました。この工場も大きな被害を受け、今年4月からやっと工場見学対応が出来るようになったそうです。まだ充填設備の半分は休止していましたが、まずプレミアムモルツの生産を主軸に操業を元のペースに戻すべく努力しているとのことでした。サントリーの「水にこだわり原料にこだわる」ビール造りを徹底しており、ものづくりを生業とするプロの意気込みを感じました。



その後、地震の被害の大きかった西原村を通り抜け南阿蘇へ移動しました。途上ではブルーシートのかかった家が散見され、山崩れの跡も各所にみられました。幹線道路も交通止めとなっている部分が多く何度も迂回を余儀なくされ、今回の地震の爪痕がまだ残っていることも実感しました。夕刻は、三菱重工業(株)様のご厚意により三菱重工業(株)阿蘇高原クラブで懇親会を行い、大いに盛り上がりました。



明朝、阿蘇大橋崩落現場近郊を視察し、その後、白川水源、幣立神宮を見学した後、熊本方面と小倉方面の2グループに分かれ阿蘇地域を巡りました。

小倉方面グループは阿蘇神社へ訪問しました。重要文化財の楼門と拝殿が倒壊しその惨状が全国に報道され心配しておりましたが、現地でも最も重要な3つの神殿がいずれも無事であることを確認出来、安心しました。その後、赤牛料理を堪能し、初夏の阿蘇を満喫しました。一部のメンバーはシャープのCMでおなじみの鍋ヶ滝を訪れ爽やかな滝の涼風を楽しみました。



平成29年度の秋の行事は、11月25日(土)に長崎にて開催いたします。詳細は、別冊案内にてご確認下さい。



## 2017 秋の例会のご案内

## 「松尾芭蕉の足跡を巡る—多賀城から松島へ」

東北といえば、松尾芭蕉の「おくのほそ道」を思い浮かべる人も多いのではないのでしょうか。

今年の秋の例会は、長谷川公一先生をお迎えし、講演を頂くと共に仙台の北および北東に位置する多賀城から松島へ向けて、松尾芭蕉の足跡を辿りながら、現地での解説をしていただく会を企画しました。

長谷川先生は社会学がご専門ですが、冬虹という俳号をお持ちの俳人でもあり、句集「緑雨」(木語叢書)を出版されています。

**日時：平成29年10月14日(土) 10:00～20:00**

**場所：東北歴史博物館ほか(多賀城市ほか)**

## スケジュール：

10:00～11:20(受付後随時)東北歴史博物館見学

11:20～12:00 講演会：

「松尾芭蕉の足跡を巡る—多賀城から松島へ」

講師：長谷川公一 東北大学文学研究科教授

12:00～13:00 昼食及び自由時間

13:00～16:00

長谷川先生の案内により、多賀城碑(壺の碑)

松島・瑞巖寺等を見学

18:00～20:00 懇親会(仙台市内)

**幹事：佐藤 正明**(東北大学学際科学フロンティア研究所)

電話：022-795-5799

メールアドレス：sato-msk@tohoku.ac.jp

●本企画は、既に京機会ホームページならびにメールでお知らせしております。ニュース到着時には、受付が締切となっている場合もありますが、参加希望の場合は、幹事までご相談ください。

## 多賀城碑(つぼのいしぶみ)について

多賀城は古代より陸奥国の国府であり、9世紀の初めまで鎮守府も置かれ東北地方の政治・軍事の中心都市であった。

多賀城碑(右写真)は多賀城市の北西部に位置する多賀城跡にあり、壺



覆屋内の壺の碑  
(多賀城市観光協会から転載許可取得)

の碑(つぼのいしぶみ)とも呼ばれる。日本三古碑の一つであり、碑文から奈良時代の762年に建立されたと考えられる。芭蕉は1689年にこの地を訪れており、その時の状況が「おくのほそ道」にも記載されている。講演会では、碑名「壺の碑」の由来や芭蕉が訪れた際の状況などの内容が解説されるものと期待しております。

## 2017 春の定例会のご報告

日時：平成29年3月31日(金)18:00～21:00

場所：あら浜(宮城県仙台市) 参加人数：9名

京都大学工学系同窓会である航空宇宙応物同窓会、工工会、水曜会等と合同で開催しました。本部から吉田英生教授にも遠路お越し頂き、楽しい一時を過ごしました。その様子を写真に示します。

今年の会場は、仙台市内の「あら浜」でした。この会場は2年前にも利用させて頂きました。「あら浜」は宮城県南部に位置する亶理郡亶理町荒浜に店舗を有する料理屋さんでしたが、2011年の東日本大震災で津波が屋根の高さまで押し寄せ、建物は流されてしまいました。

2年前は仙台市内の仮店舗という雰囲気でしたが、今回おじゃまするときれいに改装されており、また荒浜地区の亶理店が元の位置にオープンしたとのことでした。大震災以来の復旧、復興を直に感じた次第です。

荒浜地区は「はらこめし」の発祥の地で全国的にも有名になっていますが、季節柄今回は大変おいしい魚料理に加え、「ほっきめし」、「かきめし」を味わいました。

参加者はそれぞれに懐かしい京都大学時代のことや共通の友人、研究の話題などで盛り上がりました。



## 2016 秋の例会のご報告

日時：平成28年10月15日(土) 10:00～21:00

場所：東北大学災害科学国際研究所・石巻市

参加者：16名

- 1)津波講演会 「東日本大震災の被害と教訓」  
今村文彦教授(東北大学 災害科学国際研究所長)
- 2)東北大学災害科学国際研究所見学：
- 3)石巻を歩いて見る会
- 4)懇親会：中嘉食堂 仙台駅構内店



## 学生会SMILEからのお知らせとご報告

### 工場見学のご報告

平成29年9月25日(月)～9月27日(水)の日程にて、機械システム学コース公式行事「関東・中部工場見学」を開催し、広報をはじめとする各種の運営に対し、全面協力いたしました。今年は、中部支部のDMG森精機(株)、トヨタ自動車(株)三菱電機(株)の3社と、関東支部の富士フィルム(株)、日産自動車(株)の2社を見学させて頂きました。支援して下さいました支部の皆様、有難うございました。

また、11月27日(月)には関西支部との共催で関西工場見学を予定しております。

詳細が決定次第、学生会員にはポスターや電光掲示板、E-mailで案内します。

### 関東・中部工場見学

京大OBが働く企業を見学します。  
OBの方々の懇親会もあり、  
一気にいろいろな企業を見学することができる  
お得な企画です。京機だからこぞできた  
工場見学をぜひ体験してください！！

集合：京大吉田キャンパス／解散：横浜  
費用：13,000円(概算)+復路交通費(各自)  
内訳：片道交通費+宿泊費+他(補助込)  
非京機会員は25,000円  
※京機・第二世紀事業会の補助12,000円  
※非会員もこの機会に会費を払っていただければ  
補助の対象になります。

見学先：  
DMG森精機 DMGMORI  
トヨタ自動車 TOYOTA  
三菱電機 MITSUBISHI  
富士フィルム FUJIFILM  
日産自動車 NISSAN

日程：9/25(月)～9/27(水)  
見学先：  
DMG森精機 DMGMORI  
トヨタ自動車 TOYOTA  
三菱電機 MITSUBISHI  
富士フィルム FUJIFILM  
日産自動車 NISSAN

見学詳細はSMILEのHPにて  
Google 京機 smile  
Top>イベント紹介>2017年度・関東・中部工場見学  
応募締切：8/23(月)  
応募フォーム  
(https://keikikai.secure-site.jp/event/form/?id=88)

### 学生と先輩との交流会にかかるお知らせ

今年度も平成30年3月2日(金)に「京都リサーチパーク」にて「学生と先輩との交流会」を開催いたします。

こちらも詳細が決定次第、学生会員にはポスターや電光掲示板、E-mailで案内します。



昨年の懇親会の風景

### 京機学生会(SMILE)

京大機械系の学生同士・OB間の交流を促進するために設立された学生を主体とする団体です。毎週ミーティングを開き、様々なイベントを計画・実行しています。



新入会員も随時募集中！ E-mail: [keiki.smile@gmail.com](mailto:keiki.smile@gmail.com)

## KARTからのお知らせとご報告

来たる平成29年9月5日から9日にかけて、学生たちの熱い戦いである第15回全日本学生フォーミュラ大会が静岡県エコパにて開催されます。私たち京都大学フォーミュラプロジェクトKARTは、1年間全力を挙げて開発して参りましたフォーミュラマシン‘KZ-F15’とともに、総合優勝を目指し出場して参ります。

今年度車両‘KZ-F15’は、KART初のカーボンモノコックシャシーを採用し、さらなる軽量、低重心な車両を目指しました。今年度も主要メンバーの少ない状況でのスタートとなりましたが、KARTの伝統である新しい試みへの挑戦を捨てず、信頼性向上のため、不必要に‘攻めない’設計の両立を試みました。さらに思い切



切って過去培ってきたツインシャシ構造はいったん不採用とし、モノコックへ集中することで、車両が中途半端な完成度とならないような構想を立てました。シェイクダウンは、大会一か月前となるなど、過去と比較しても最も遅い時期となってしまいました。また車両のトラブルも発生し、対応に忙しい毎日ですが、大会では完全にブラッシュアップして挑めるよう努力してまいります。

大会まで残りの期間、最後まで戦い抜き、支えてくださった皆様に恥じない成績を持ち帰れるよう努力してまいります。京都大学フォーミュラプロジェクトKARTへのご声援をよろしくお願い申し上げます。

2017年度プロジェクトリーダー 中村 葵

Facebookページ:

<https://www.facebook.com/KART.official>



(注) 本原稿は、編集の関係で平成29年8月末日に投稿いただきました。第15回学生フォーミュラ大会(2017/9/5～9 エコパ(静岡))やKARTの今後の活躍・展望は、京機短信等でご紹介いたします。 <京機事務局>

## 学生会員への京機会活動

京機会は、卒業生のための同窓会組織でもありますが、近年、学生会員(機械系専攻在学学生)向けの行事や支援も数多く行っています。

### 2回生 工場見学会

2回生講義「機械製作実習」の一部として実施する工場見学会に対して、見学先の手配などの支援を行っています。本会は、機械システム学コースの勉強と実社会での技術者の活動の関係を知る貴重な機会です。

平成29年度は、8月4日(金)に、川崎重工業(株)と(株)神戸製鋼所を見学しました。

### 中部・関東工場見学会

機械システム学コースの公式行事で、京機会、中部支部、関東支部、京機会学生会SMILEの協力のもと実施される2泊3日の工場見学ツアーへの参加費補助を行っています。見学の他に、懇親会には京大OBの若いエンジニアが多数ご参加いただき、社会人と知り合う機会ができます。普段は聞けない社会人の本音を聞かせていただくことができ、将来の就職に役に立つ企画です。平成29年度は、9月25日～27日に実施され、DMG森精機(株)、トヨタ自動車(株)、三菱電機(株)、富士フイルム(株)、日産自動車(株)を見学しました。

### SMILE主催 工場見学会

京機会各支部(関西・中国四国・九州)のご協力より、京機会学生会SMILE主催の工場見学も年度により実施しています。京機会は、参加学生に補助金を提供し、参加しやすい環境を作っています。また、各支部や訪問企業からも多大なるご尽力をいただいています。

### 京機会各種行事の参加

学生会員は、京機会の各種行事への参加を歓迎されています。特に懇親会では格安の学生価格で参加できます。(但し一部適用されない行事もあります。)

### 修士修了生・卒業生記念写真撮影

機械理工学・マイクロエンジニアリング専攻の学位授与式、ならびに機械システム学コース卒業証書授与式終了後、記念撮影を行っています。(下記写真)

### 修士修了記念パーティー

新社会人となる修士学生会員を対象として、博士修了・学部卒業の学生会員も交え、学位記授与式後の記念写真撮影後、記念パーティーを開催しています。



### 新社会人への記念品贈呈



新社会人となる学生会員には、修士修了パーティーへの招待と共に、京機会特製本皮名刺入れを贈呈しています。

### 学生と先輩との交流会

学生会SMILEとの共催で、毎年約100社の企業にご参加いただき、各社からも好評をいただいています。

平成30年度は、平成30年3月2日(金)に京都市サテライトパークにて開催します。学生会員は、早期申込により懇親会にワンコイン(500円)で参加できます。

### 脇坂基金の運用・管理

脇坂基金は、国際会議等で初めて研究発表する学生に交通費等を補助します。京機会は、本基金の運営を預かり、学生への対応を行っています。

#### <修士学生会員のみなさんへ>

「京機会 海外へチャレンジ・脇坂基金」に応募ができます。申請方法は、京機会ホームページに掲載しています。E-mailでも案内します。



脇坂基金:国際会議等で初めて研究発表する場合、基金より交通費等を補助します。状況により修士以外の学生会員の応募も可能です。

## 平成28年度 学位授与式の風景

平成29年3月23日・24日に、機械理工学専攻、マイクロエンジニアリング専攻(大学院)、機械システム学コース(学部)学生全員の出席を得て学位授与式を開催しました。23日には、京機会主催で記念パーティーを開催しました。会長、専攻長、コース長からの祝辞、賞の授与と卒業記念品贈呈がありました。



## 卒業生からのメッセージ ～省庁勤務・MBA留学を踏まえて～

2007年に卒業、2010年に修了しました長谷川寛晃と申します。修了後、経済産業省に入省し、2年間の防衛省への出向を経て、2016年8月から米国カリフォルニア大学アーバイン校において経営学修士取得に向け学んでおります。本誌に記事を掲載いただける貴重な機会を活用して、これまでの業務経験や留学について、私的な観点からお話させていただきたいと思います。

大学時代、元々はメーカーに関心がありました。しかし、様々な企業等に勤めている先輩方のお話を聞く中で、素晴らしい技術を持つ多くの日本企業が更に世界で評価されるためには、また、当該技術の活用により社会を更に豊かにするためには、どのような社会システム・ルールがあればいいのかを考えるようになりました。大学院時代にフランスで海外インターンシップを行い国の存在・国に対する意識が私の中で大きくなったこともあり、結果、経済産業省を就職先として選びました。

経済産業省の役割は、国富の増大、とやや漠然としているのですが、言ってみれば国を豊かにする、生活水準を高くするためにできることを何でもやろう、という比較的に変化に積極的な行政機関であると個人的には考えております。これまで、マクロの視点から産業競争力を高める政策を扱う経済産業政策局、国際ルール作りや海外ビジネスを後押しする通商政策局にて業務を行い、その後、商務流通保安グループにおいて電気・ガス等の保安行政に従事しておりました。それぞれ法律・規制・予算・国際ルール等と扱う政策は異なるものの、行う政策はフェアと言えるのか、国がするべきなのか、国にとっていいことなのか、というシンプルな質問に対して一言で答えることを一貫して求められました。また、自らはビジネスをしない中でどのような制度が民間企業の方々に望まれているのか、或いは、規制によるビジネスの負担増と社会の安全・安心との適正なバランスはどうかを考え、悩みのつきない4年間でした。

防衛省の役割は極めて明快で、国を守る、ことです。そのための防衛政策を立案することから、防衛装備品の調達・運用を含め様々な役割を担っております。行政機関の中で特徴的なのは、その内部に自衛隊という組織を抱えていることかと思います。すなわち、立案した防衛政策を自ら行う、この点は経済産業省と大きく異なります。もちろん、防衛装備品は防衛産業の方々に依存しています。出向当初は防衛航空機の調達関連業務を、防衛装備庁が設置された後は航空機を含む防衛産業全体の政策立案業務を行っておりました。部内だけで議論してもわからないことが多いため、頻繁に省内外や陸海空幕僚監部、また、防衛産業の方々と議論していました。時に激しい議論になりましたが、相手が本当に真剣に考えているからこそできたことだと思います。出向期間中、歴史的な背景を踏まえて必ずしも全体最適化していない防衛に関わる制度・防衛産業の現況において、変化を必要とする場合に誰が何を負うべきかを考えつつ、その変化を促す具体的な行動をほんの小さなものも含めとってきたつもりです。この期間、業務に加えMBA受験もあり、そのバランスの取り方を含め精神的余裕が微塵もない2年間でした。

MBAと言えばストラテジーやリーダーシップ・組織論といった科目が真っ先に挙がるかと思いますが、統計・データ分析もコアの一つです。ファイナンスにおけるポートフォリオ理論、マーケティングにおける価格決定メカニズムやその戦略策定においても統計は重要な要素です。日本でもデータサイエンティストの養成といった話を聞きますが、米国では世界中から統計・データ分析をする人材を集め、MBAだけでなく様々な学部で人材養成しているという点で厚みが桁違いです。米国社会がそもそもそうですが、MBAのクラスは実に多様です。半分は米国、2割はインド、2割は東アジア、残りは中東・ヨーロッパ・アフリカ出身の学生で構成されています。また、大学時代の学部も違えば、仕事の職種・業種も違います。このような、背景の全く異なる人々と向き合って議論する際に必要な事柄は何があるのでしょうか。理解力の一つです。ただ、英語によるコミュニケーション力は更に必要です。気持ちで英語はなんとかかなる、と言われます。1対1の対話や話すべき事柄が明確である場合はそれも可能と思いますが、多数による議論や、その議論がどう着地するかわからない段階では通用しないのではないのでしょうか。私自身のケースディスカッションでの経験として、ビジネスケースを人並み以上に理解しているものの、次々に変わる議論に上手くついていけず、議論への貢献は極めて限られたものになりました。自分への戒めも含め、日本・日本企業が国際舞台で更に存在感を高める必要がある中で、コミュニケーション力の強化は大きな課題と感じます。自分と同じような悔しい思いをしないためにも、学生で本稿を読まれている方がおりましたら、切に留学等で海外に1年以上暮らしコミュニケーション力を高めることをお勧めします。

2018年6月には経済産業省に戻り業務を行うこととなります。少子高齢化といった社会構造の変化、安全保障環境を含めた世界情勢の変化、及び加速する技術革新といった我々の身の回りで起きている止めることのできない変化に対して、社会システムを適切にデザイン・構築することが行政機関に求められていると認識しております。社会を更に豊かにする産業構築に向けたシステム・ルール作りに励むとともに、国家公務員として、“がんばる人”、私の中ではハードワーク、ネットワーク構築、又はリスクテイクをする人、がしっかりと報われるような社会形成に少しでも貢献し、様々な変化に対応できる強い国造りをしていきたいと考えております。なお、時間に余裕のある今の状況を活用して、ぜひとも様々なお方とお話できればと思っております。

もし米国にお越しになる方や米国在住の方がおりましたら、米国在住の先輩と作成しました米国京機会用の連絡先アドレス(keikius2017@keikikai.jp)に御連絡いただければ幸いです。御拝読ありがとうございました。

### 長谷川 寛晃氏の略歴：

塩路・石山研出身。2010年修了、同年に経済産業省に入省。防衛省出向を経て、2016年から米国でMBA留学中。



### ★若手教授としてのスタート

2006年3月に京都大学工学研究科精密工学専攻で博士学位を取得させて頂いてから、11年が経ちました。学振PD、立命館大学情報理工学部助教、准教授を経て2017年4月より立命館大学情報理工学部教授に就任しました。ご挨拶申し上げます。



38歳で教授というのは決してよくある話でもありませんので、身が引き締まる思いです。立命館大学では創発システム研究室という研究室を運営し、ロボットの言語獲得やロボティクスへの機械学習応用に関わるテーマを中心に広範な研究テーマを推進しています。興味を持っていただければ、ご連絡、ご訪問いただければと思います。

### ★記号創発ロボティクス

学位論文では「環境との相互作用に基づく自律適応系の構成論的研究」という題目で機械学習にもとづいて自らの概念や行動を形成していくロボットの基本的な考え方を提示しました。その後、関連する学術論文を発表していくとともに「コミュニケーションするロボットは創れるかー記号創発システムへの構成論的アプローチ」(NTT出版)「記号創発ロボティクスー知能のメカニズム入門ー」(講談社)などを出版し、「記号創発ロボティクス」という研究分野の創成に尽力してきました。この分野では、環境とのセンサ・モータ情報を介した相互作用を通して人間が概念や行動、言語を獲得していくようなプロセスを工学的に実現することを目指します。まさに機械系と情報系の境界に位置するような領域であり、21世紀の機械が情報系の技術とどう融合しさらなる知的な機械システムとなっていくのか？を問うと共に、機械システムの構成を通じた人間の知能、認知、言語の構成論的理解をいかに成すのか？を問うという学際的側面を有しており、今後さらに重要な分野となっていくことを確信しています。

### ★第三次人工知能ブームの真っ只中で・・・

ここしばらくの間、多くの読者が「人工知能」という言葉をよく耳にされてきたと思います。ディープラーニングに象徴される機械学習技術の発展は、80年代の第二次人工知能ブームとは桁違いの分野的広がりや産業応用可能性を示しています。第三次人工知能ブームは学術的・技術的根柢を持った動きです。これからの製造業やサービス業、「モノ」づくりにおいても「コト」づくりにおいても、人工知能、機械学習技術の適切で柔軟な活用が重要となるでしょう。

さて、国内では決して数多くない機械学習×ロボティクスを推進してきた若手研究者であったこともあり、また、現在の人工知能ブーム以前に「イラストで学ぶ人工知能概論」(講談社)を上梓していたこともあり、私自身も現在、第三次人工知能ブームの渦中にいます。昨年度より文部科学省科学研究費・新学術領域研究「人工知能と脳科学の対照と融合」(代表・銅谷賢治)が走り出し、私自身も松尾豊准教授(東京大学)と共に人工知能に関する計画班代表として参画しています。

しかし、自らの反省もあるなかで、ひしひしと感じるのは人工知能研究における日本の力弱さです。ご存知のように現在のブームではGoogleに買収されたDeepMind社が頭一つ抜けるような存在感を示しており、Microsoft、Facebookなど、IT時代のプラットフォームビジネスを制した英米の企業と共に業界を牽引しています。DeepMindは韓国のプロ棋士を倒したAlphaGoを作ったことで日本ではお茶の間でも有名です。中国の百度(バイドゥ)なども存在感を示している一方で日本の存在感はありません。

### ★日本初のクロスアポイント

#### 立命館大学80%+パナソニック20%

それでも、ロボティクスや消費者と実世界で接する家電、自動車といった分野は、なんとかまだ日本の優位性が残っている分野と認識されており、人工知能×ロボティクス、人工知能×家電といった分野で日本が復権し、製造業の力を見せつけられるかが極めて重要なフェーズに入ってきています。そのためには、モノづくり企業が現在の人工知能研究の技術を大学や学術界から迅速に取り込み、また、大学や学術界が企業のエネルギーや応用に向けた本質的問題を取り込み、学術的知識と応用の循環系を作り出すことが急務です。

日本の産学連携は遅れている。そう言われ続けられてきました。それは多分、現在、私達が後塵を拝している理由の一つです。

社会の中で、企業と大学の中で、知識を循環させる上で重要なのは人材の循環です。2014年に経済産業省と文部科学省はクロスアポイントメント制度の基本的枠組みをとりまとめ、日本における産学連携、社会における知識循環の切り札としてクロスアポイントメント制度の活用を推進し始めました。クロスアポイントメント制度とは、大学にいる教員の人件費を企業が一部持ち、教員の労働時間(人的リソース)を企業と大学でシェアするという考え方です。この教員を介して知識の循環を行うことが出来ます。

しかし、霞が関がいくら掛け声をかけても、大学には大学の、企業には企業の、現実問題があり、制度運用がすぐに動くわけではありません。実は2016年度末まで、日本国内で大学から企業へ大学教員がクロスアポイントメント制度を活用して出向した事例は一つもありませんでした。私たちはこの問題に対して、立命館大学において新たにクロスアポイントメント制度を構築し、私自身が国内第一号のクロスアポイントメント制度活用事例として、2017年4月よりパナソニックに20%出向するという形で新たな活動のスタイルをスタートさせました。現在、私は、立命館大学に80%(週四日)、パナソニックに20%(週一日)という形で勤務し、双方での研究活動を推進しています。パナソニックではAIソリューションセンターの客員総括主幹技師として本社の人工知能研究やロボティクス研究の広い分野での活動に関わっています。このことは2016年3月30日の日経新聞夕刊において一面で報道されるとともに、平成29年度「科学技術白書」(文部科学省)(p. 88)においても大きく掲載されました。この第一号事例が、各大学、各企業に波及し、日本の産学連携を良い形で推進する切っ掛けの一つになれば幸いです。

## ★これから

機械工学は20世紀に長足の進化を遂げました。制御工学も確率モデルや機械学習などと組み合わせられながらより豊かな進化を遂げて来ています。それは21世紀になっても留まることなくより豊かな学術的広がりを持ちながら発展していています。サイバネティクスが生命に学ぶことで生まれたことを振り返ったとき、機械システムにはまだまだ生物や人間に学ぶことで進化する可能性を果てしなく有していることに気づきます。人工知能ブームを情報系の出来事と限局することなく、京機会の、より多くの学生、研究者、企業・大学関係者がこのチャレンジに満ちた領域に参画し、次の時代の技術、学問に貢献して下さることを心から期待しています。

**谷口 忠大氏の略歴：**1978年6月24日京都生まれ。榎木研出身。2006年京都大学工学研究科博士課程修了。博士(工学・京都大学)。2005年より日本学術振興会特別研究員(DC2)、2006年より同(PD)。2008年より立命館大学情報理工学部助教、2010年より同准教授。2015年より2016年までImperial College London客員准教授。2017年より立命館大学情報理工学部教授、また、パナソニック客員総括主幹技師としてAI研究開発に携わる(国内初の大学から企業へのクロスアポイントメント事例)。記号創発システムの構成論的理解や機械学習技術の応用に関する研究に従事。ビブリオバトルの発案者としても知られる。(一社)ビブリオバトル協会代表理事。主著に「コミュニケーションするロボットは創れるか」NTT出版、「ビブリオバトル」文藝春秋、「記号創発ロボティクス」講談社、「イラストで学ぶ人工知能概論」講談社など。

## 教員の異動

### 退職, 転出, 異動

- ◆**井手壺里教授：**平成30年3月31日定年退職
- ◆**茨木創一准教授：**平成28年11月1日 広島大学大学院理工学研究科機械システム専攻の教授に昇任
- ◆**市川和秀助教：**平成29年1月31日退職、パナソニックへ
- ◆**東 俊一准教授：**平成29年4月1日 名古屋大学大学院理工学研究科機械理工学専攻の教授に昇任
- ◆**丸田一郎助教：**平成29年5月1日 本学工学研究科航空宇宙工学専攻の講師に昇任

### 昇任

- ◆**小森雅晴教授：**H7京大・工・精密工学科卒、H9同大学院工学研究科精密工学専攻修士課程修了、企業勤務の後、H11京都大学大学院工学研究科精密工学専攻博士後期課程入学、H12同大学院工学研究科助手、H14京都大学博士(工学)、H16同助教、H19同准教授、H29同教授。メカニズム、アクチュエータ、パワートランスミッションテクノロジー、超精密計測、計測標準の研究に従事。
- ◆**黒瀬良一教授：**H5九大・工・化機卒、H7同大学院工学研究科・修士課程修了、H10同博士後期課程修了、H10.4電中研・研究員、H18.4本学工学研究科機械理工学専攻・助教、H19.4同准教授、H29.7同教授。熱・物質の乱流輸送現象および分散系粒子・液滴群の移動現象に関する理論的・実験的研究に従事。福岡県出身。
- ◆**河野大輔准教授：**H17京大・工・物理工卒、H19同大学院工学研究科・修士課程修了、H22同博士後期課程修了、H22本学マイクロエンジニアリング専攻助教、H29同准教授。工作機械を用いた機械加工プロセスの高効率・高精度化の研究に従事。大分県出身。



### 新任

- ◆**平方寛之教授：**H9同志社大・工卒、H11同大学院工学研究科・修士課程修了、H11トヨタ自動車(株)、H15京大・大学院工学研究科・博士後期課程修了、H15本学機械物理工学専攻助手、H19阪大・大学院工学研究科・講師、H20同准教授、H29本学機械理工学専攻教授。微小材料の強度に関する研究に従事。奈良県出身。
- ◆**林 潤准教授：**H17慶應義塾大学・大学院・理工学研究科・修士課程修了、H21大阪大学・大学院・工学研究科・後期博士課程修了、同年、大阪大学・大学院・工学研究科・機械工学専攻助教、H26同大学院・工学研究科・機械工学専攻講師、H29.5.1本学、エネルギー変換科学専攻准教授。混相燃焼場におけるすす生成過程に関する研究に従事。北海道出身。
- ◆**Hemma Philamore講師：**H23英国ロンドン大学クイーン・メアリー校工学部機械工学科卒業。H28英国ブリストル大学大学院 Engineering Mathematics専攻博士後期課程修了。H28日本学術振興会外国人特別研究員(機械理工学専攻メカトロニクス研究室)、英国ブリストル大学ポスドク研究員を経て、H29.3.15本学大学院工学研究科機械理工学専攻講師、エネルギー自己生成ロボット、ソフトロボティクスに関する研究に従事。英国出身。
- ◆**Kennedy Okeyo講師：**H22京大・大学院工学研究科・同博士後期課程修了、(株)日立製作所中央研究所入社。H24より東京大学機械工学専攻助教、H29.4.1本学大学院工学研究科マイクロエンジニアリング専攻講師。ケニア出身。



## 大学からの近況報告



2004年の国立大学の法人化以来、国立大学に国が出している補助金である運営費交付金は恒常的な減額が続き、それを補うべく大学は運営費交付金以外の競争的資金の獲得によって研究や教育の質を維持していかなばならなくなっ

てきています。機械工学領域でも、力学と動学を基盤とする基礎学理と、実用に供する人工物の設計を基軸とし、国際的な舞台で新しい研究分野を開拓する人材の養成を目指して、これまでも21世紀COE「動的機能機械システムの数理モデルと設計論」(平成15～19年度)をはじめ、平成21年度からはJSPS 若手研究者海外派遣事業・組織的な若手研究者等海外派遣プログラムを獲得し、3カ年の間に学部学生、修士課程・博士課程学生、ポスドク、若手教員の合計107名を海外に派遣し、現地での著名外国人研究者からの直接指導の機会を提供してきました。




JSPS 組織的な若手研究者等海外派遣プログラム: 第9回成果報告会

ところで、国際社会は今、温暖化、災害、エネルギー、食糧、人口など、社会のシステムやアーキテクチャが本質的に関与する複合的課題の解決を求めています。そのような課題に取り組むには、素朴な創意工夫の集積だけでは不十分で、多様かつ高度な専門性を背景とした協働が必要となります。しかし、高度に専門分化が進んだ現在の学問体系のもとでは、異なる分野の専門家の協働は容易ではありません。産業界においても、日本企業のこれからの人材育成戦略は、社内で時間をかけてその企業に適した人材を育成する方向から、多様な専門性を備えグローバル展開の即戦力となる人材を求める方向にシフトしつつあります。このような社会的ニーズに応えるには、大学院教育の中で専門知識を培うだけでなく、その専門知識を用いて社会的課題の解決に貢献するための方法論の学修と、その方法論を現場で実践するための訓練が必要になります。即ち、自らの専門性を社会の中の実問題に展開して行く「メタ能力」の開発と育成です。

このような人材育成を目指し、機械工学3専攻群では、工学研究科の建築学専攻、情報学研究科、経営管理大学院、教育学研究科と共同で、平成24年に博士課程教育リーディングプログラムとして『デザイン学大学院連携プログラム』の採択を受け、平成25年度からプログラムを実施してきました。本プログラムでは、「デザイン学」を共通言語とする専門領域横断的な教育プログラムを編成し、協働を担い得る博士人材の育

成を行っています。即ち、様々な場面でイノベーションを主導し、社会を変革できる専門家の育成を目標としています。社会的課題を分析俯瞰し、異なる分野の専門家と協働して課題解決に貢献できる人材、このような人材を、ジェネラリストを意味する「T字型人材(T-shaped people)」と対比させて、専門領域を超えて協働し社会を変革できる突出した専門家という意味を込めて「十字型人材(+shaped people)」と呼び、本プログラムが養成すべき人材像としています。総合大学の特長を生かして、4つの研究科/専門職大学院(11専攻)が連携して学際融合的な教育研究体制(大学院連携)を構築し、履修生が修士・博士の5年間を通して、高度な専門性を背景にデザイン力を身に付けることができる教育環境を整えています。工学からの修了者には、博士(工学)の学位に「デザイン学大学院連携プログラム」を修了した旨を付記した学位記が授与されます。

本プログラムでは、問題発見型学習と問題解決型学習を中心とするデザインスクールを夏期、春期に開催しており、特に夏のサマーデザインスクールでは、学内や学外の企業、さらに国外大学から毎回300名近くの参加者・実施者を集め、20～30のデザイン課題のテーマについて、グループに分かれて3日間の短期集中型で社会の実問題に真剣に挑んでいます。

さらに、プログラム継続性確保の一環として学外に「デザインイノベーションコンソーシアム」を設立し、企業や公的機関など69会員(平成29年6月現在)を集めて組織しています(現在のコンソーシアムの会長は、京機会関東支部前支部長の三菱電機(株)取締役会長山西健一郎氏(S50))。

この関連事業として毎年産学デザインシンポジウムを開催しているほか、コンソーシアムを中心とする産学官イベントに多くの履修生が参加して社会活動参加の機会を得ています。

さらに、デザイン学を学ぶことが具体的にどのような新しい成果に結び付くのか、どのようなリーダーの育成につながるのかを明確にするため、若手研究者の持つべきTransferable Skillsの国際標準をデザイン学に適用した能力基準を測る指標として「デザインイノベータインデックス」を独自に定めています。この指標を用いて履修者の能力と企業の求める能力を比較することで、社会の求める人材との適合度を指標化し、年度毎の適合度の推移によりプログラムの成果評価を行っています。

京都大学デザインスクールの詳細は、以下のサイトをご参照下さい。 <http://www.design.kyoto-u.ac.jp>

榎木 哲夫(S56)

●「デザインイノベーションコンソーシアム」理事でもある田中健一氏(三菱電機(株))の特別講演とならびに榎木教授との対談を、11月3日(金・祝)京機会総会にて開催します。詳細は、P.3を参照下さい。





## 学年・研究室同窓会のご報告

● 学年&研究室同窓会開催案内や掲示板としても京機会ニュースをご利用下さい！

### 50年会（昭和25年卒）同期会

平成29年5月15日(月)、下間邸と河久(第3ビル最上階)において開催。残念ながら出席者は2名(下間、小澤)でしたが、現在の活動状況、同期メンバーの近況など話し合うと共に京機会の状況等話し合いました。

今後、出席者を増すために付き添いと一緒に温泉などで同期会をする計画も考慮中です。会員数が少なくなってもお互いの連絡は出来るだけ続行したいと考えています。次回は平成30年5月第3月曜に開催する予定です。(小澤記)



### 晦日会（河本研究室同窓会）

平成28年度は、8月27日にホテルグランビア大阪19階アブで開催し、7名が集まりました。体調を崩され欠席された方の多い中、先輩の関護雄様(S21)からお手紙を頂き老人ホームにおられますがお元気な様子を伝えていただきました。

平成29年度は、8月26日にホテルグランビア大阪19階アブで開催し8名が集まりました。晦日会最長老であった小浜様が今年4月に亡くなられたため、小浜様を偲ぶ寄せ書きを作成しました。

河本研同窓会が発足して今年で50年になります。昔を思い出しながら、今後のこの会の進め方についてもはなしあい、3時間があっという間に過ぎました。

次回は2018年8月25日(土)17時～ 同場所で行います。関心ある方は、川合迄。



## 泰山会（昭和32年卒）同窓会

泰山会は昭和31年卒業生を中心とするクラス会で、平成28年10月13日(木)、大阪倶楽部で集まり、赤松、稲積、沖野、小浜、田村、戸田、友田、永井、橋本、宮部、山下が参加した。卒業時35名、現在生存者23名、当日参加者12名の状況で、一昨年には全て80歳を越えたので、今後の泰山会の継続が、今回の集まりの大きな相談事であった。

横浜より遠来の戸田君の発声で乾杯の後、各々近況を語り合い、まずは参加できるだけの身体の状態を喜び合った。今回来られなかった人では、電話では元気に話しながらも、体の不調で遠出できない人も多かった。今後の運営については、全国的な会合は今回をもって終わりとする、従来より続けている首都圏の関東泰山会(年2回)、関西圏の近畿泰山会(年4回)はそれぞれに継続し、関東は戸田君、近畿は橋本君をキーマンとして、機会のある人が相互に参加できるようにすることとなった。

終宴後、近隣の大同生命メモリアルホール(「あさが来た」で有名になった)、ビルの谷間に残る「愛珠幼稚園」「適塾」を訪れ、がんこNEX-T1淀屋橋店でビールを飲み解散した。(稲積・小浜(故)記)



### 昭和37年卒同窓会

平成29年6月12日(月)、5年ぶりからすま京都ホテルで18名が集まり、同期会を開催しました。

これまでは2日で実施していましたが、年齢のこともあり、今回は1日開催とし、昼食会としました。積もる話があることを考え12時～16時の長時間開催としました。

また、来年以降は年1回開催することとし、散会しました。好評であったと考えております。

(大谷記)



## 会員のページ

### 1965年卒同窓会（4040会）例会

毎年開催しているこの会、今年は平成28年5月26日（木）に、宝塚ホテルで行いました。

今年は阪神間在住の幹事団が相談、一度は観ておこうと実施した宝塚歌劇鑑賞に約半数の参加を得、手塚治虫館散策などを経て合流した全体会では、歌劇鑑賞の印象も含め、近況報告に花が咲きました。

年一度の近況漸には野次も飛び交い、おしまい恒例の琵琶湖周航の歌を元気いっぱい歌い切りました。

（龍野記）



### 鈴木(健)研究室同窓会（Cava-Cava会）

1995年から2～3年ごとに開催しているCava-Cava会を2月18日に実施しました。今回は同窓会に先立ち、洛西にある故 鈴木健二郎先生・昭子夫人の御墓前にて、有志一同がめいめいに感謝の意と近況を伝えました。

竹林に囲まれ、東山の山並みを遠景に市内を一望できるその場所から、往時と変わらず我々を温かく見守ってくださっています。

本会は同日夕刻より京都仏光寺烏丸の「しゃぶしゃぶ寅太郎」にて開宴しました。韓国とシンガポールから元留学生も駆けつけ、同伴者を含め総勢45名となりました。アイスブレイクとして企画されたひと言自己紹介では「おもろい大学」出身者にふさわしい馬鹿話の雨あられとなり、先輩後輩の世代を超えて一気に距離が縮まりました。すぐに席は乱れ散り、研究室時代の懐かしい話や不意にながった仕事の話などに、あちこちで花が咲きました。

鈴木先生が我々に残してくださった同窓という大きな遺産に感謝しつつ、あつという間だった夢のような宴は琵琶湖周航の歌で締め括られました。

（勝本記）



### 昭和48年入学同窓会

2016年9月10日（土）に京都大学桂キャンパスで学年同窓会を行い、28名が集まりました。

3年前に移転したばかりの機械系の新しい校舎—整然とした講義室・実験室・研究員室—見学の後、工学本部の大窓から京都盆地—京都タワー・大文字・北山—を一望。カフェ・アルテで、懐かしい写真とトークの連発。

2年後に次回開催予定です。どうか、よろしく願います。

（北村記）



### 奥島研ミニ同期会

2016年9月8日（木）18時から京セラドーム大阪ビスタールームにて、奥島研ミニ同窓会を開催しました。

2009年3月、吉村允孝先生の退官祝いに1972～74年奥島研在籍者の有志が集まりました。その後、定期的集まりを持つということになり、2年後の2011年9月から京セラドーム大阪でミニ同窓会を開催することにしました。

吉村先生を中心に、毎年少しずつ参加者が変わりながらも今回で6回目の開催。遠路九州からの参加者に敬意を表し毎回リーグ戦終盤のソフトバンク戦に設定。ここ数年は消化試合。若かりし頃に想いをはせ、ギターを持ち込み試合そっちのけのフォークソングの大合唱で盛りあがっていました。今年は、ソフトバンクが日本ハムと僅差の首位攻防戦。各自の近況報告の後はしっかり試合を観戦しました。結果はおおかたの予想に反しオリックスの逆転勝ち、ペナントレースは面白くなりました。

来年からは幹事を交代、趣向を変え京都で開催する予定です。

（下尾記）



### 京岬会（昭和33年卒）同窓会

平成28年10月17日(月)に沼津リバーサイドホテルにて同窓会(16名)を開催した。梅本幹事の司会で、今年3月に鬼籍入りした石原君を悼む黙祷から始まり、京機委会長からの祝辞の披露があり、感激の至りであった。

続いて全員の意気軒昂な近況報告で大いに会は熱をおび、更に3テーマの軽い講演会を行う。最後に杉本君のフルート伴奏で三高寮歌「逍遙の歌」を青春時代に蘇っての大合唱でお開きとなった。

尚、総会前日16日の湯河原での囲碁大会は造田君が昨年に引き続き優勝。翌日の第67回京岬会ゴルフコンペ(11名)は梅本君が優勝しました。(中村ヤ)



### - 談風会 -

第13回:平成29年1月17日

第14回:平成29年6月20日

第14回は、9人が参加、8名から発表があった。各人の発表内容は最先端物理学から、予想もしなかった難



解な江戸時代算額の明察とその挑戦記、古代土偶に関する創作詩まで広範囲に亘り、夫々の話題は全然関連のないものだった。特筆すべきは京機短信を纏めておられた久保愛三名誉教授が、岐阜県のかかみがはら航空宇宙科学博物館へ三式戦飛燕の修復作業を視察に来られたと話したところ、みんなの少年のころの夢であった飛行機の話に花が咲き、上田君の大日本帝国の戦闘機という投稿が生まれた。(大林記)

### 1987年入学組同窓会

平成28年7月8日に、東京八重洲で同期会を開催しました。13名が集まり、盛況でした。(北村記)



### 昭和42年卒合同同期会

S42年卒の私どもはこの春で卒業後50年となりました。そこで50年を記念して同期会を企画しました。

4月12日に伊勢市駅に集合、伊勢神宮を特別参拝しました。同期生26名に奥様4名で合計30名が参加しました。青空と満開の桜が迎えてくれる中、すがすがしい気持ちで参拝できました。

外宮・内宮を参拝後、賢島の宝生苑で懇親会を行いました。この宝生苑は昨年の伊勢志摩サミットで利用されたホテルです。50年ぶりに会った人もおり、なごやかな雰囲気です。2時間半があつという間に過ぎてしまいました。

最後に琵琶湖周航の歌を斉唱し、その晩はこのホテルで宿泊しました。



翌日(13日)は24名が松阪の観光に訪れました。松阪城も桜が満開でした。昼食には名物の松阪牛を食べ、全体行事を終了しました。メンバーのうちの11人は「熊野古道を歩こう」と紀伊勝浦に行きました。

3日間良い天気恵まれ、桜も丁度満開で我々が訪れるのを待っていてくれたようでした。

合同同期会は「次回は55周年に開催しよう」という声が上がっています。この他に関東同期会は年2回、関西同期会は年1回開催されています。(川合記)

### 昭和42年卒関東同期会

平成28年11月11日(金)、東京品川の「金時」にて恒例の同期会愛称「金時會」が開催され、11名が集まりました。

各人の健康管理の話や、ピアノ・ハーモニカなどの楽器演奏、天体観測などの趣味の話、ボランティア活動や孫の世話などの話で楽しく懐かしい時間を過ごしました。

卒業50周年関西・関東合同同期会(上記報告)も話題となり、できるだけ多くの会員が参加して盛り上げたいと話しました。(藤川記)



## 会員のページ

### 燃焼研OB会

平成28年11月19日(土)、京都駅近くのリーガロイヤルホテルにて「燃焼研OB会」が開催されました。残念ながら池上名誉教授(S33)がご体調の加減で欠席されましたが、39名出席の盛会になりました。

燃焼研(S39卒以降の旧長尾研・池上研を含む)OB会は4年に1回オリンピックイヤーに開催されています。前回の平成24年は大津で開催され、懇親会の後ミンガン・クルーズを楽しみました。

塩路教授(S50)の司会・挨拶、川合OB会長(S45)発声の乾杯のあと情報交換や思い出話に花が咲きました。

約2時間の歓談の後、徳島から出席の三輪 恵先生から「今ここに長尾研時代から池上研、塩路・石山研までのおよそ50年間の卒業生と一緒に集まっていることは内燃機関の繋がりで、これは誇りうることであり、やっぱり内燃機関は不滅である証拠です。」との挨拶でお開きとなり、次回2020年(H32年)の東京オリンピックの年の再会を期して別れました。

その後、有志は紅葉がきれいな東寺を訪れ、新都ホテルで二次会をしました。(藤川記)



●京機会ホームページ(<http://www.keikikai.jp/>)において、各学年&研究室の最新の同窓会風景はバックナンバーと共に掲載しております。



### 学年・研究室同窓会開催のご案内

#### 昭和47年卒 同窓会

学年同窓会で旧交を温めた後、同日15時から開催の京機会総会へ参加いたします。

案内ハガキは、9月に郵送していますが、届いていない場合は、幹事・秋山雅義(下記)にご一報下さい。

1. 日 時:平成29年11月3日(金・祝) 正午~14:00
2. 場 所:トラットリア ルチアーノ(東一条西入る50m)

#### 井手亜里教授退職記念講演会・懇親会



平成30年3月末の井手先生ご退職にあわせて記念講演会と懇親会を開催いたします。

本日は研究室卒業生と共に、先生と縁の深い皆様の参加も歓迎いたします。詳細は井手研HPで確認下さい。

1. 日 時:平成30年3月24日(土) 午後~
2. 会 場:京都大学吉田キャンパス時計台記念館
3. 詳 細:井手研HPにて随時ご案内いたします  
<http://www.kyotoheritage.jp/>
4. 問い合わせ:井手研 赤坂 075-383-3667

#### 京機会ニュース記事投稿のお願い

会員のページの原稿字数は150字以内(厳守)でお願いします。紙面の都合により事務局にて文章を省略させていただく場合があります。またお送りいただいた写真(画像ファイル)は返却いたしません。ご了承下さい。

次号(No.39)の締切は平成30年7月末日です。

担当:富田直秀、鈴木基史、小森雅晴、段 智子

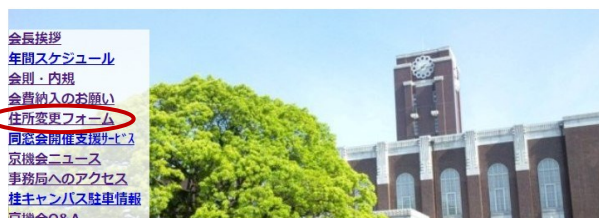
### 京機会データ登録にご協力ください。

会員各位にスムーズにご連絡がとれますよう、また提供サービスを確実にご利用いただけますよう、データ登録のご協力をお願い申し上げます。なお、京機会ニュース同封の「返信ハガキ」も引き続きご利用いただけます。



京機会ホームページに「住所変更受付ページ」がございます。データ変更はこちらよりご連絡下さい。

<https://keikikai.securesite.jp/>



QRコード